

2 子どもの生活実態（相談・救済、参加、居場所等）

（１）相談・救済

① 子どもの日常生活と権利侵害の実態

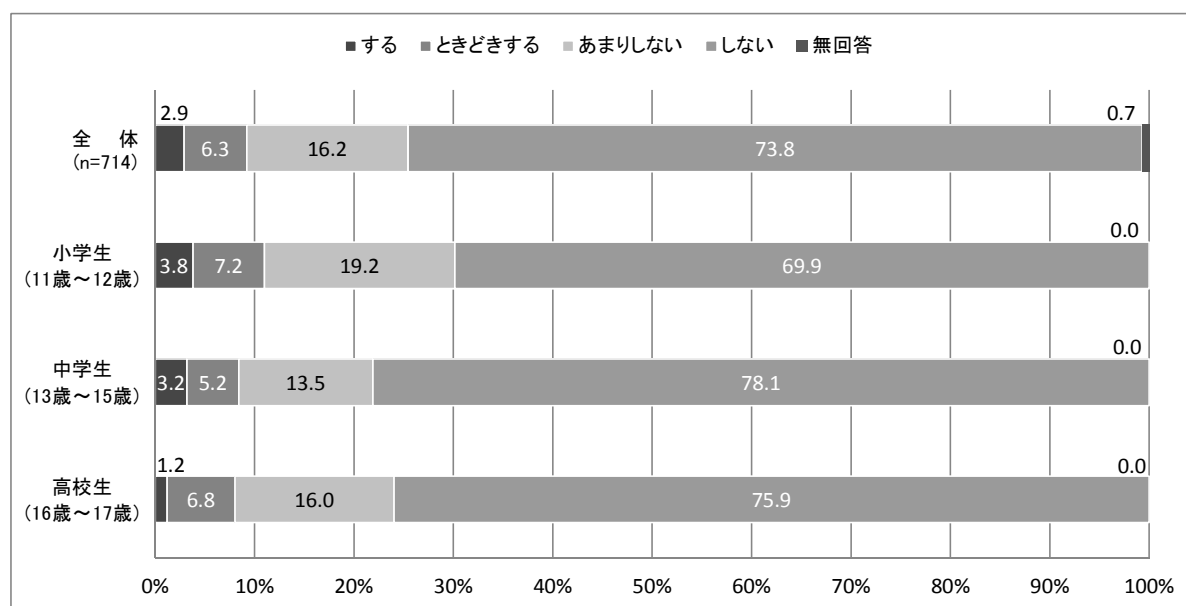
ア たたかれたり、なぐられたりすること

【子ども一年齢別】

子どもに対し、おとなからたたかれたり、なぐられたりするかとたずねたところ、子ども全体としては、「する」という回答が2.9%、「ときどきする」が6.3%、「あまりしない」が16.2%、「しない」が73.8%であった。

年齢別に見ると、「しない」という回答が、小学生69.9%、中学生78.1%、高校生75.9%で、各年代とも最も多かった。「する」「ときどきする」という回答は、中学生（8.4%）・高校生世代（8.0%）より、小学生世代の方が高かった（11.0%）。

図2.2 Q3 あなたは、おとなからたたかれたり、なぐられたりしますか【子ども一年齢別】



【おとな—男女別】【おとな—年代別】【おとな—子どもの有無別】

次に、おとなに対して、子どもをたたくことがあるかとたずねたところ、「ある」「ときどきある」という回答は、合わせて9.1%であった。

男女別にみると、「ある」「ときどきある」を合わせた回答は、男性が10.3%、女性が8.6%とであった。

年代別にみると、「ある」「ときどきある」を合わせた回答の割合が最も高かったのは30歳代（16.5%）で、次いで50歳代（12.2%）、60歳代（8.9%）であった。

子どもの有無別にみると、「18歳未満の子どもがいる」おとなの「ある」「ときどきある」を合わせた回答の割合は18.1%にのぼった。

図 2 3 Q 8 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか【おとな一男女別】

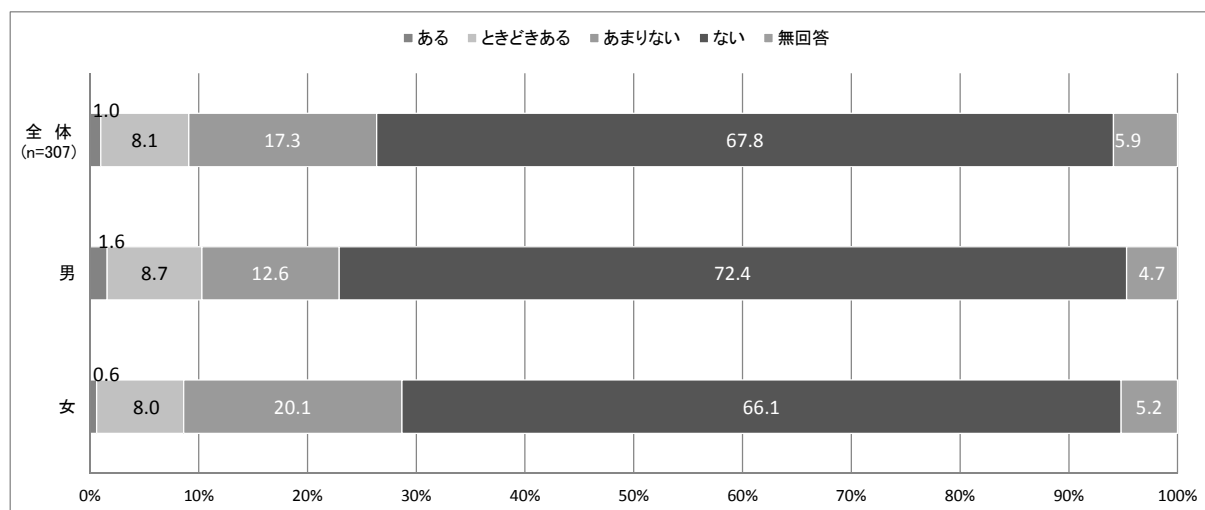


図 2 4 Q 8 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか【おとな一年代別】

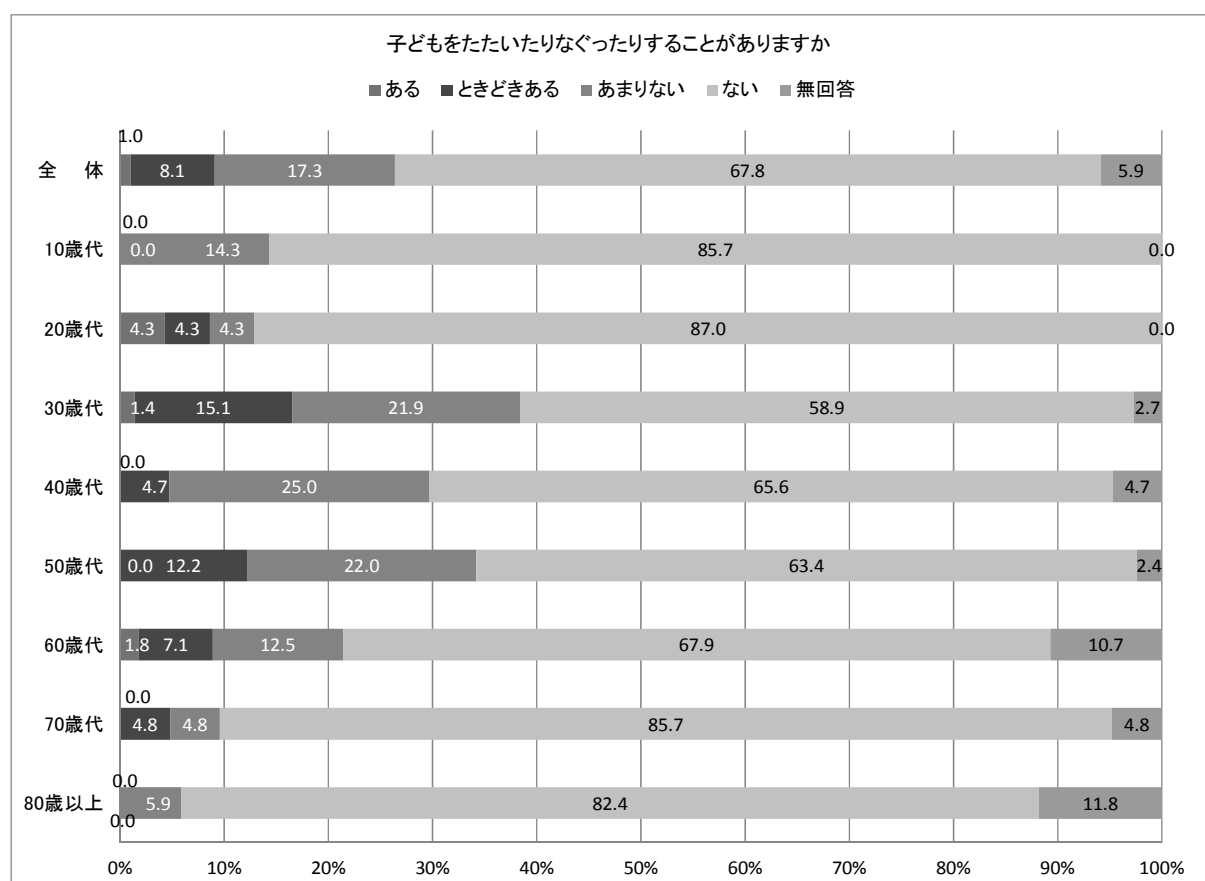
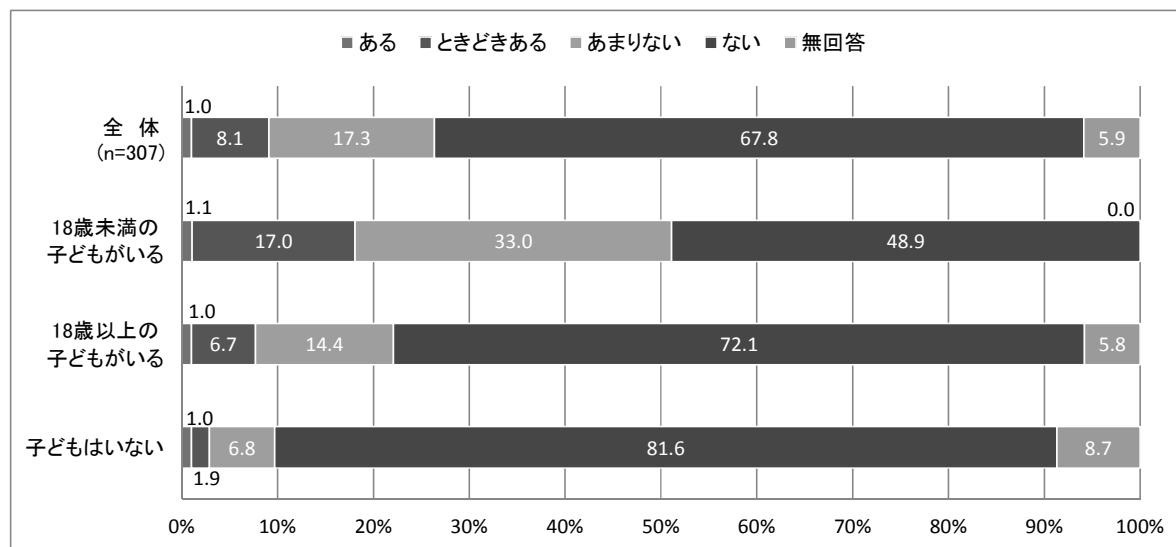


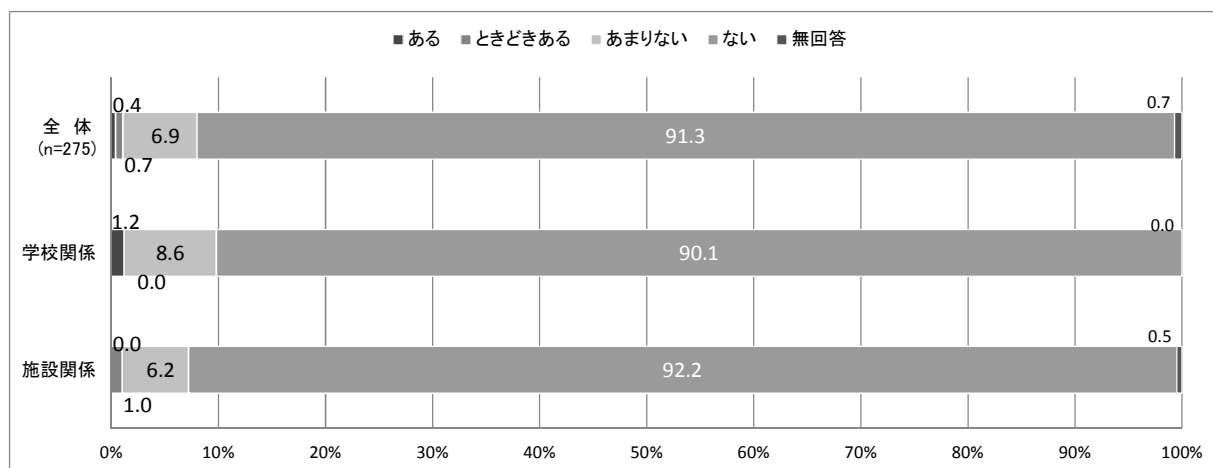
図 2 5 Q 8 あなたは、子どもをたたいたりなぐったりすることがありますか【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

さらに、職員に対して、子どもをたたくことがあるかとたずねたところ、学校関係の職員は、「ある」1.2%、「ときどきある」0.0%、「あまりない」8.6%、「ない」91.3%という回答であった。施設関係の職員は、「ある」0.0%、「ときどきある」1.0%、「あまりない」6.2%、「ない」92.2%という回答であった

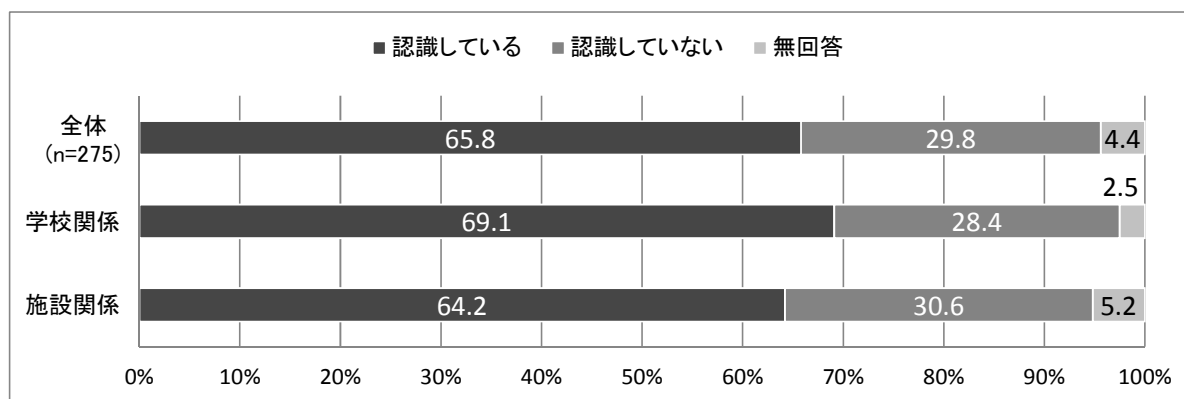
図 2 6 Q 9 あなたは、職場で子どもをたたくことがありますか【職員—学校・施設別】



【職員—学校・施設別】

また、職員に対して「子どもへの懲戒権限の範囲を認識しているか」とたずねたところ、学校関係の職員で 69.1%、施設関係の職員で 64.2%が「認識している」と回答した。

図 2 7 Q 2 7 あなたは、子どもへの懲戒権限の範囲を認識していますか 【職員—学校・施設別】



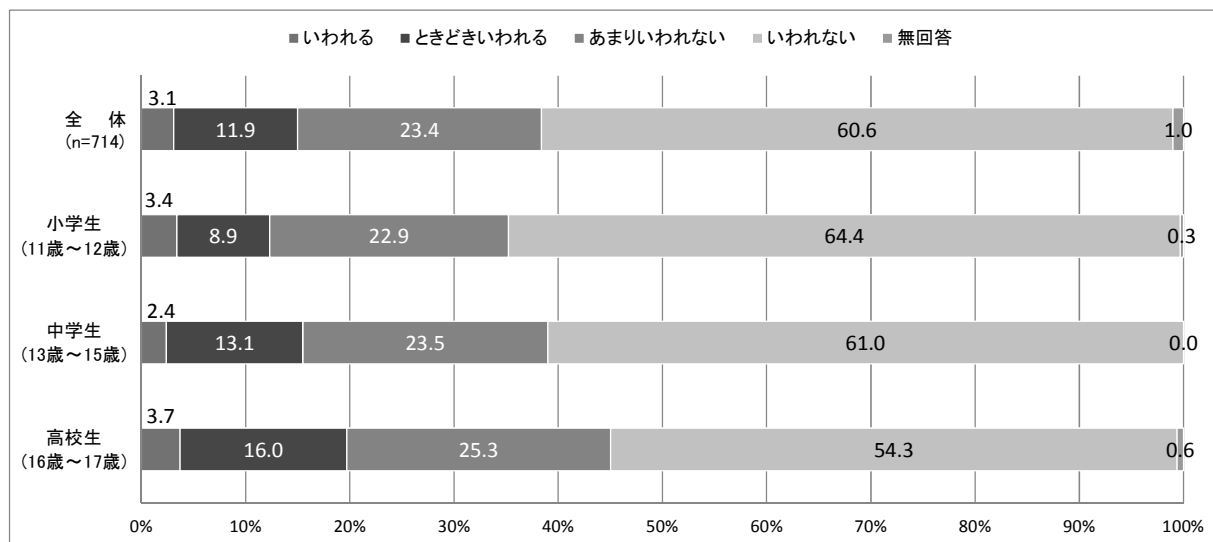
イ 心を傷つけられる言葉を言われること

【子ども—年齢別】

子ども全体としては、「いわれる」が 3.1%、「ときどきいわれる」が 11.9%、「あまりいわれない」が 23.4%、「いわれない」という回答は 60.6%であった。

年齢別に見ると、「いわれる」「ときどきいわれる」の回答を合わせた割合は、小学生世代が 12.3%、中学生世代が 15.5%、高校生世代が 19.7%と、年代が上がるに従って増加している。

図 2 8 Q 4 あなたは、おとなから心を傷つけられる言葉をいわれますか 【子ども—年齢別】



【おとな—男女別】【おとな—子どもの有無別】

次に、おとなに対し、子どもの心を傷つける言葉を言ったことがあるかとたずねたところ、男女別では、「ある」「ときどきある」を合わせた回答が男性で 25.3%、女性 14.2%であった。また、子どもの有無別では、「18 歳未満の子どもがいる」おとなでは、「ある」「ときどきある」を合わせた回答が 34.1%にのぼった。

図 2 9 Q 9 あなたは、子どもの心を傷つける言葉を言ったことがありますか 【おとな—男女別】

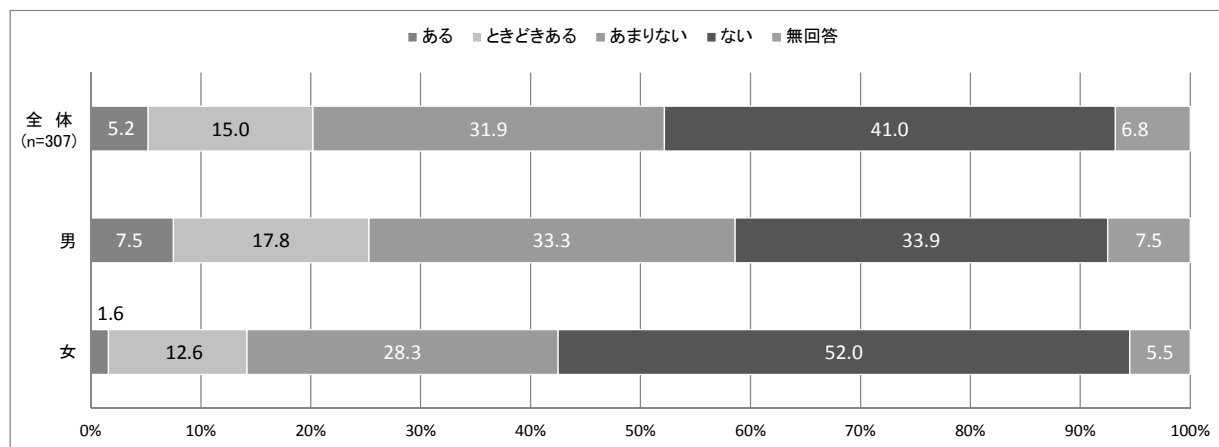
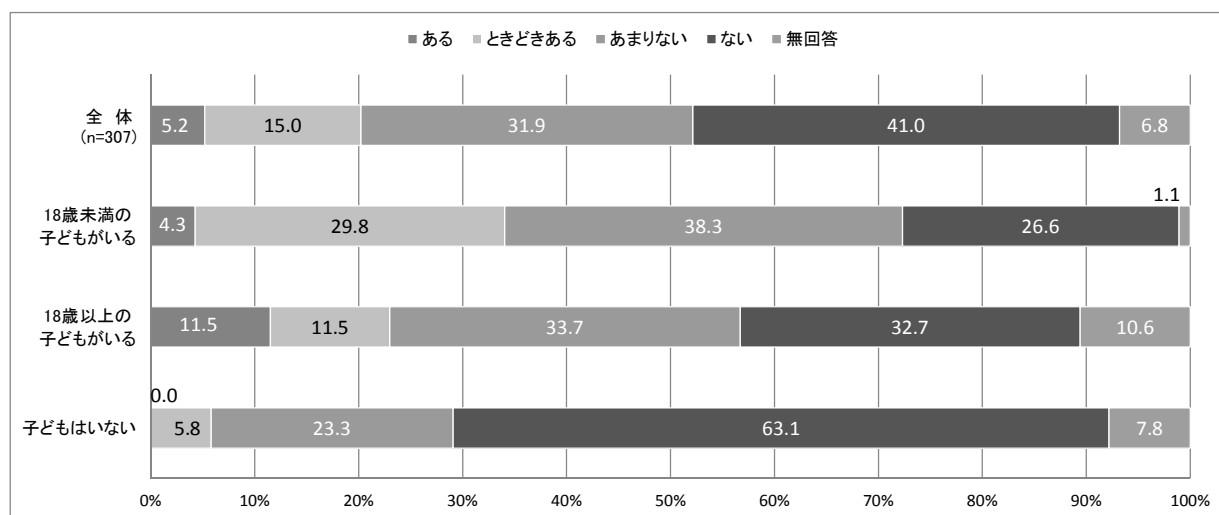


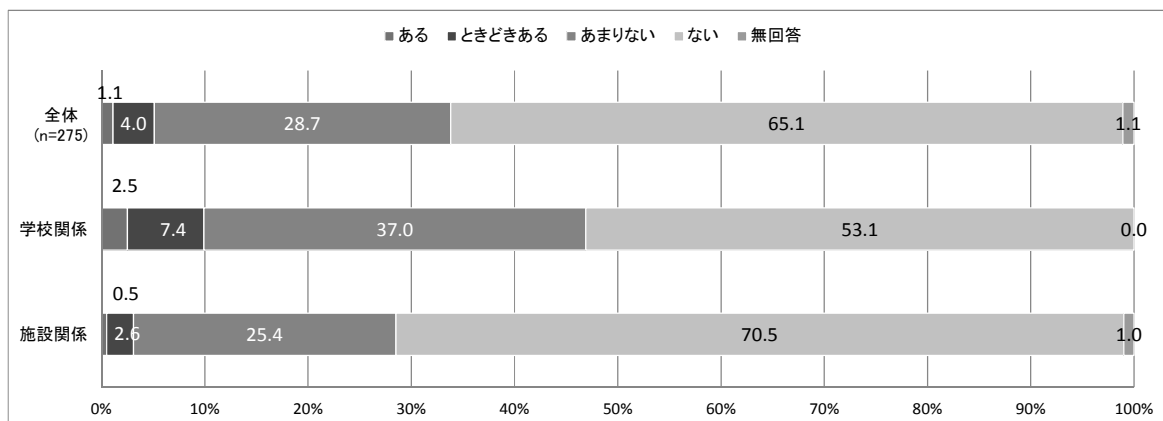
図 3 0 Q 9 あなたは、子どもの心を傷つける言葉を言ったことがありますか 【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

さらに、職員に対して、子どもの心を傷つける言葉を言ったことがあるかとたずねたところ、学校関係の職員で「ある」2.5%、「ときどきある」7.4%で、あわせて9.9%、施設関係の職員で「ある」0.5%、「ときどきある」2.6%で、あわせて3.1%という回答であった。

図 3 1 Q 1 0 あなたは、職場で子どもの心を傷つける言葉を言ったことがありますか【職員—学校・施設別】

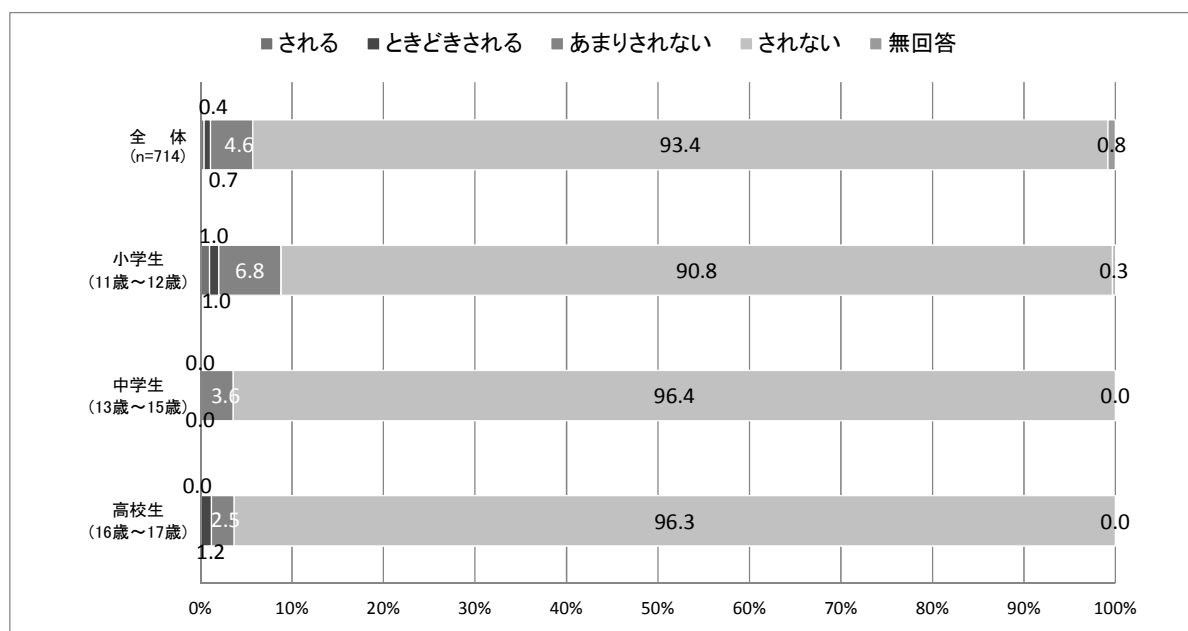


ウ 性的にいやなことをされること

【子ども—年齢別】

小学生・中学生・高校生世代ともに「ない」という回答がほとんどであるが、小学生は「ある」が 1.0%、「ときどきある」が 1.0%、高校生が「ときどきある」1.2%という回答であった。

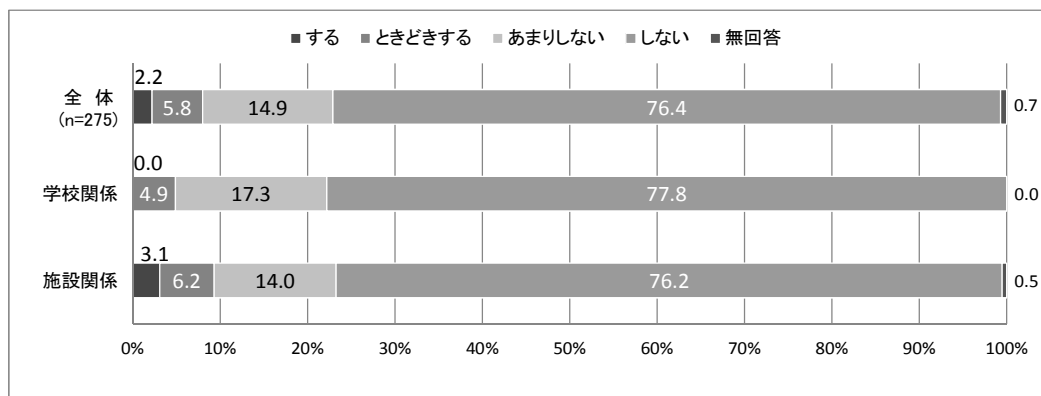
図 3 2 Q 5 あなたは、おとなから性的にいやなことをされますか 【子ども—年齢別】



【職員—学校・施設別】

次に、職員に対して、子どもがおとなから性的にいやなことをされたことを聞いたことがあるかとたずねたところ、学校関係の職員で「ある」0.0%、「ときどきある」4.9%で、施設関係の職員で「ある」3.1%、「ときどきある」6.2%という回答であった。

図 3 3 Q 6 あなたは、子どもが、おとなから、性的にいやなことをされたりさせられたりしたことに最近気づいたり聞いたりしますか 【職員—学校・施設別】

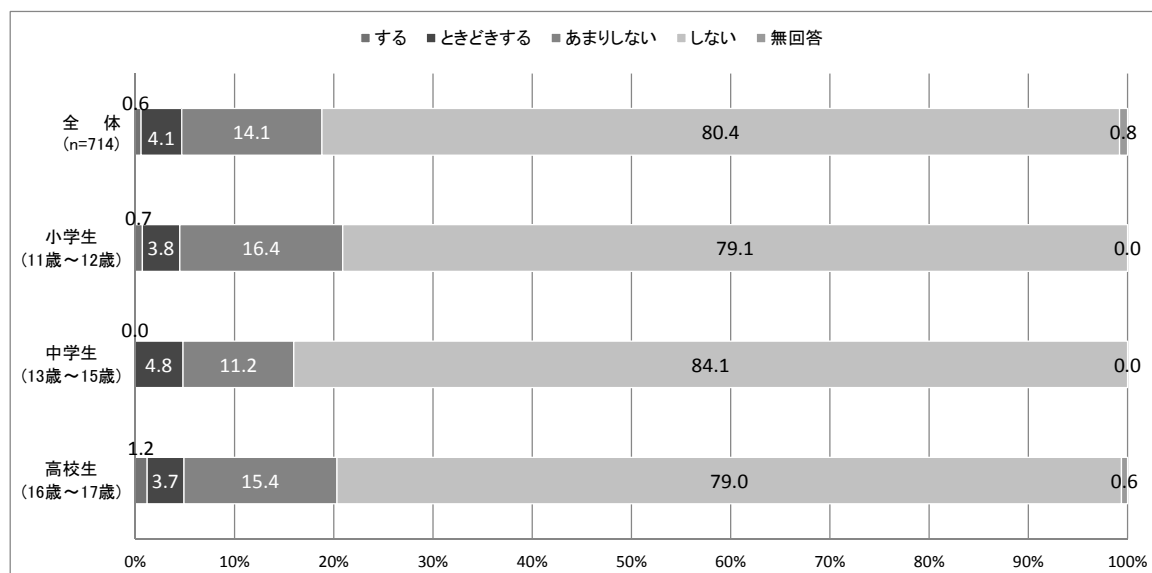


エ 世話してもらえなかったり無視されること

【子ども—年齢別】

子どもに対し、世話してもらえなかったり無視されることがあるかとたずねたところ、子ども全体では、無視されたり「する」が 0.6%、「ときどきする」が 4.1%、「あまりしない」が 14.1%、「しない」が 80.4%であった。年齢別の比較で大きな隔たりは見られなかった。

図 3 4 Q 6 あなたは、おとなに世話をしてもらえなかったり無視されたりしますか。【子ども—年齢別】



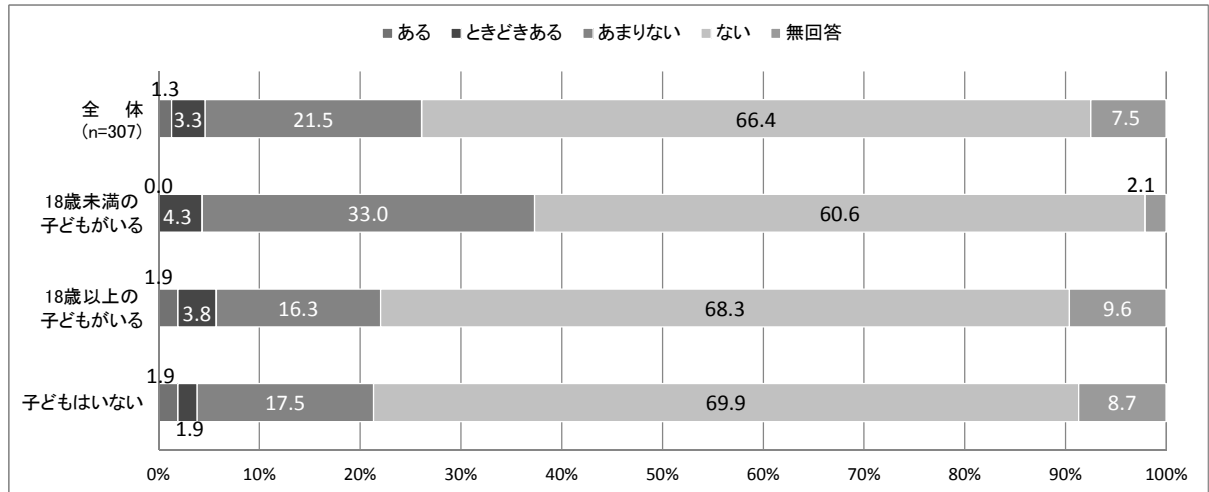
【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、子どもの世話をしなかったり無視したりすることがあるかとたずねたところ、おとな全体では、「ある」が 1.3%、「ときどきある」が 3.3%、「あまりない」が 21.5%、「ない」が 66.4%という回答であった。

子どもの有無別では、「ある」と「ときどきある」を合わせた回答が、「18 歳未満の子どもがいる」おとなが 4.3%、「18 歳以上の子どものいる」おとなが 5.7%であった。

図 3 5 Q 1 0 あなたは、子どもの世話をしなかったり無視したりすることがありますか。

【おとな—子どもの有無別】



オ 疲れること、不安に思うこと

【子ども—年齢別】

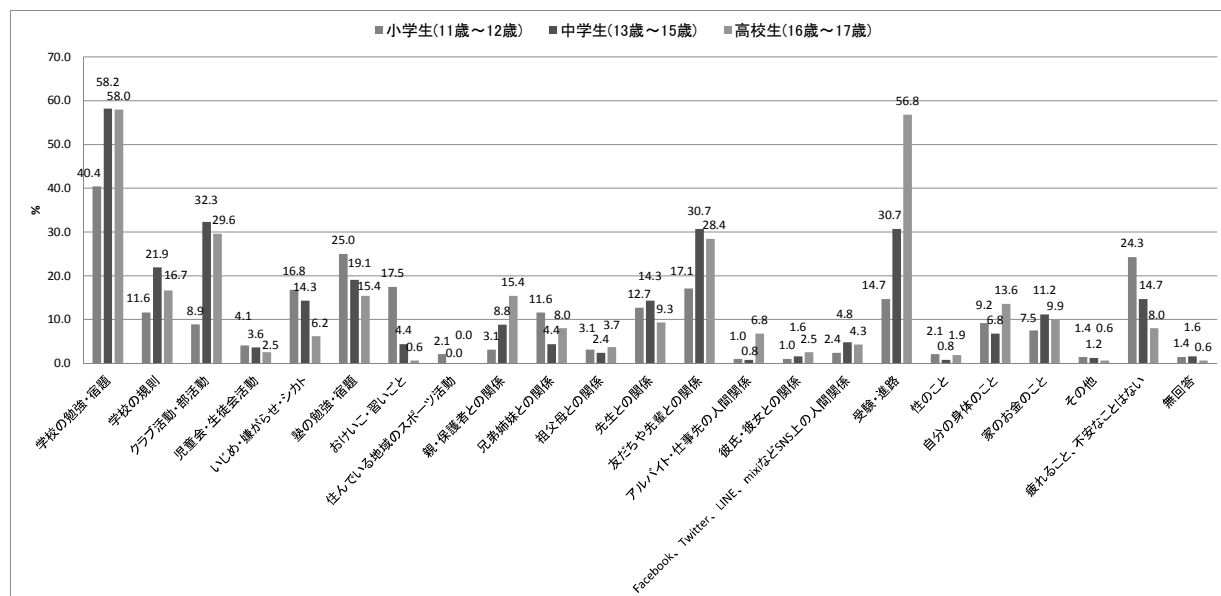
子どもに対し、疲れること、不安に思うことはあるかとたずねたところ、小学生世代で最も多い回答は「学校の勉強・宿題」の 40.4%で、次いで「塾の勉強・宿題」25.0%、「おけいこ・習いごと」17.5%、「友だちや先輩との関係」17.1%が続く。

中学生世代で最も多い回答は「学校の勉強・宿題」が 58.2%で、次いで「クラブ活動・部活動」32.3%、「友だちや先輩との関係のこと」「受験・進路」30.7%、「学校の規則」21.9%が続く。

高校生世代で最も多い回答は「学校の勉強・宿題」58.0%で、次いで「受験・進路」56.8%、「クラブ活動・部活動」29.6%、「友だちや先輩との関係」28.4%が続く。

「疲れること、不安なことはない」という回答は小学生世代が 24.3%で、疲れや不安を感じる子どもは、中学生・高校生に比べて少ない。

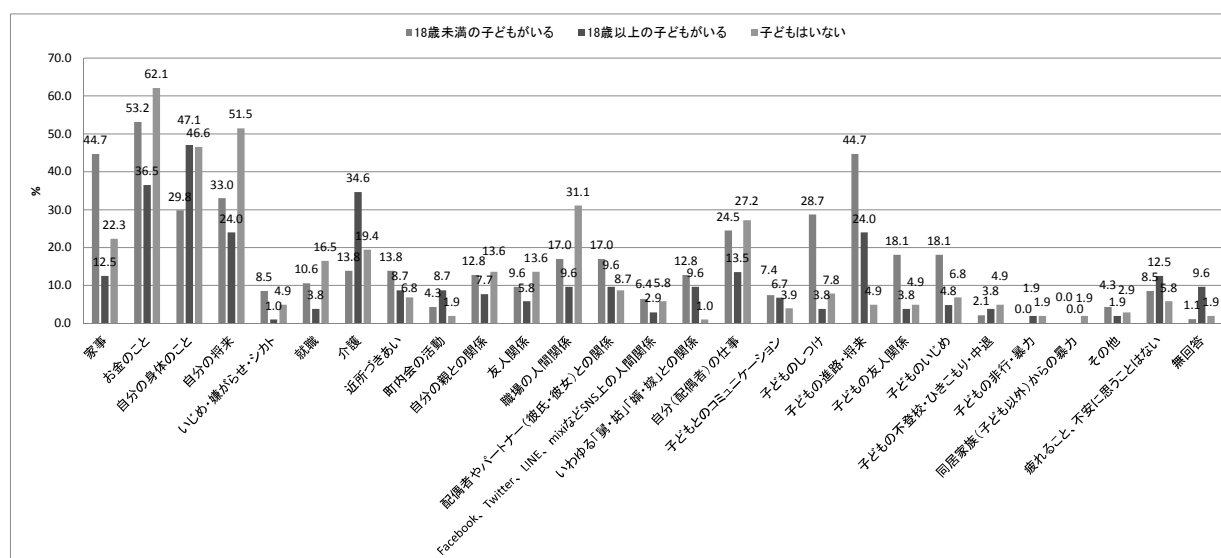
図 3 6 Q 8 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うことがありますか。【子ども一年齢別】



【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、疲れること、不安に思うことがあるかとたずねたところ、おとなの子どもの有無別では、「18歳未満の子どもがいる」おとなは、「お金のこと」が53.2%と最も割合が高く、次いで、「家事」「子どもの進路・将来」が44.7%であった。「18歳以上の子どもがいる」おとなは、「自分の身体のこと」が47.1%と最も割合が高く、次いで「お金のこと」が36.5%、「介護」が34.6%であった。「子どもはいない」おとなは、「お金のこと」が62.1%と最も高く、次いで「自分の将来」が51.5%、「自分の身体のこと」が46.6%であった。

図 3 7 Q 8 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うことがありますか。【おとな—子どもの有無別】



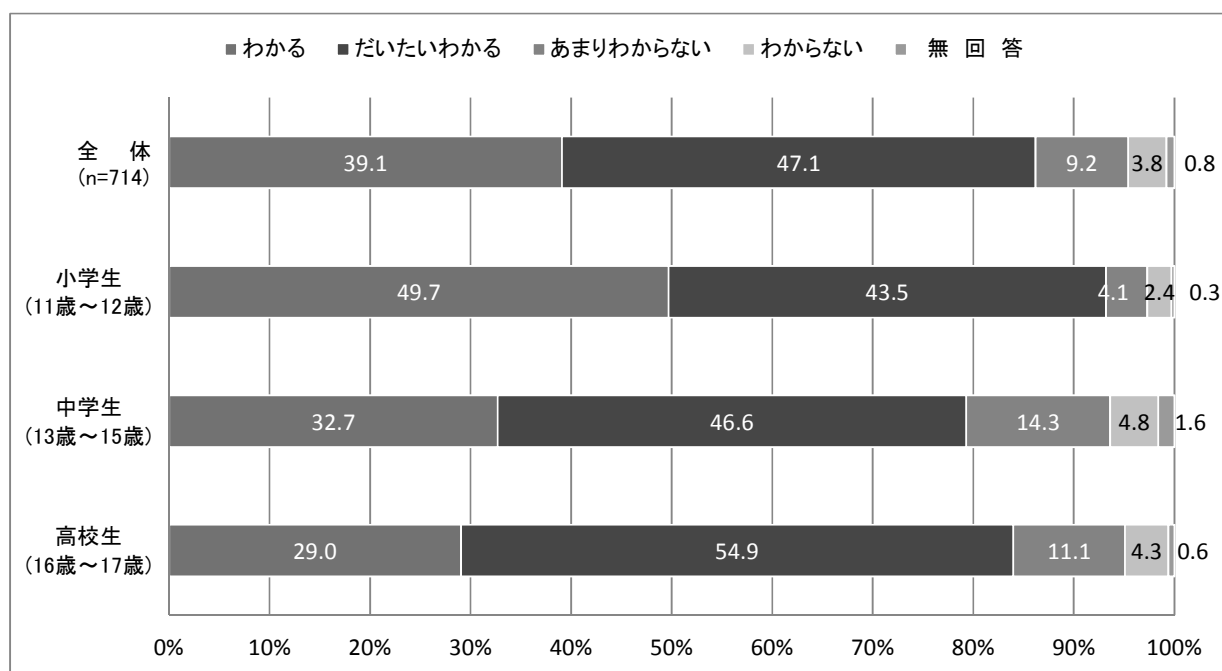
カ 学校の勉強がよくわかるか

【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校の勉強がよくわかるかとたずねたところ、子ども全体としては、「わかる」という回答が 39.1%、「だいたいわかる」が 47.1%、「あまりわからない」が 9.2%、「わからない」が 3.8%であった。

年代別にみると、「わかる」という回答は、小学生世代で 49.7%、中学生世代で 32.7%、高校生世代で 29.0%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 3 8 Q 1 5 あなたは、学校の勉強がよくわかりますか。【子ども一年齢別】



② 悩みや相談事を話せる人・機関

ア 悩みや相談事を話せる人の有無

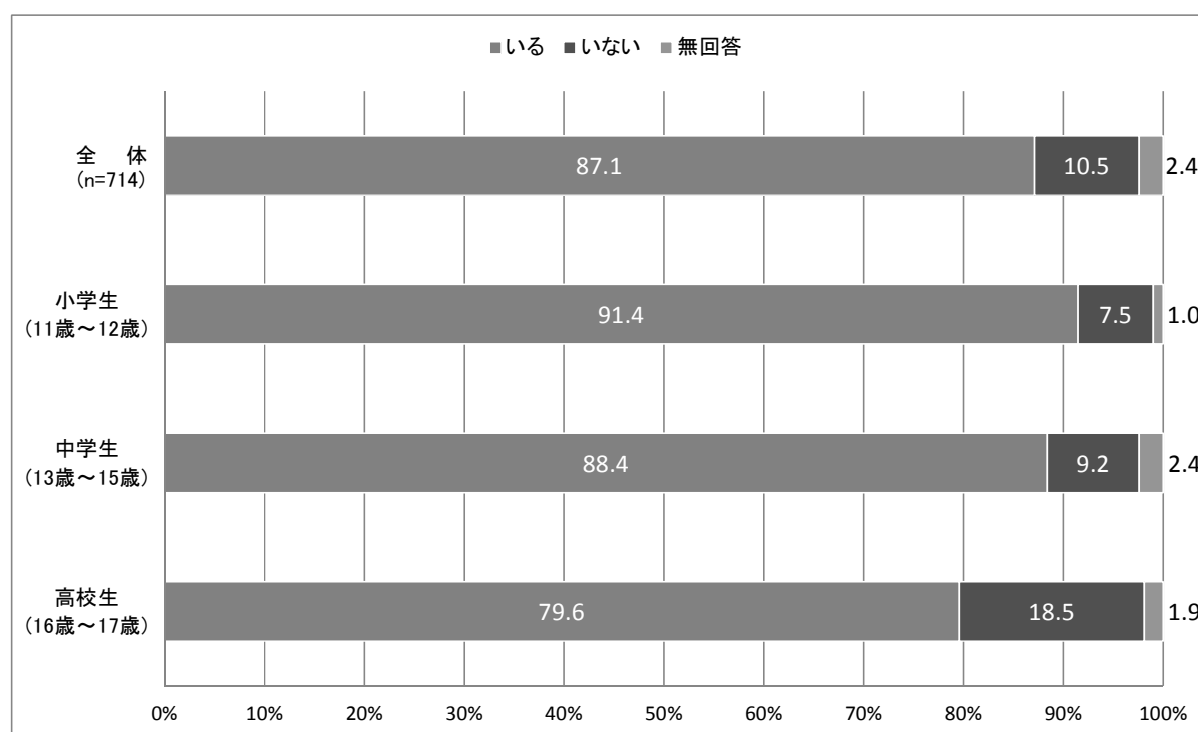
【子ども—年齢別】

子どもに対し、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が87.1%、「いない」が10.5%であった。

年齢別にみると、「いる」という回答の割合は、小学生世代で91.4%が、中学生世代で88.4%、高校生世代で79.6%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図39 Q7 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。

【子ども—年齢別】



【おとな—年代別】【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいるかをたずねたところ、おとな全体では「いる」という回答が85.3%、「いない」が10.4%であった。

年代別にみると、「いる」という回答の割合が最も高かったのは50歳代の92.7%で、逆に最も低かったのが70歳代で76.2%であった。

子どもの有無別にみると、「いる」という回答の割合は、「18歳未満の子どもがいる」おとなが85.1%、「18歳以上の子どもがいる」おとなが85.6%、「子どもはいない」おとなが86.4%であった。

図４０ Q１１ あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。

【おとな一年代別】

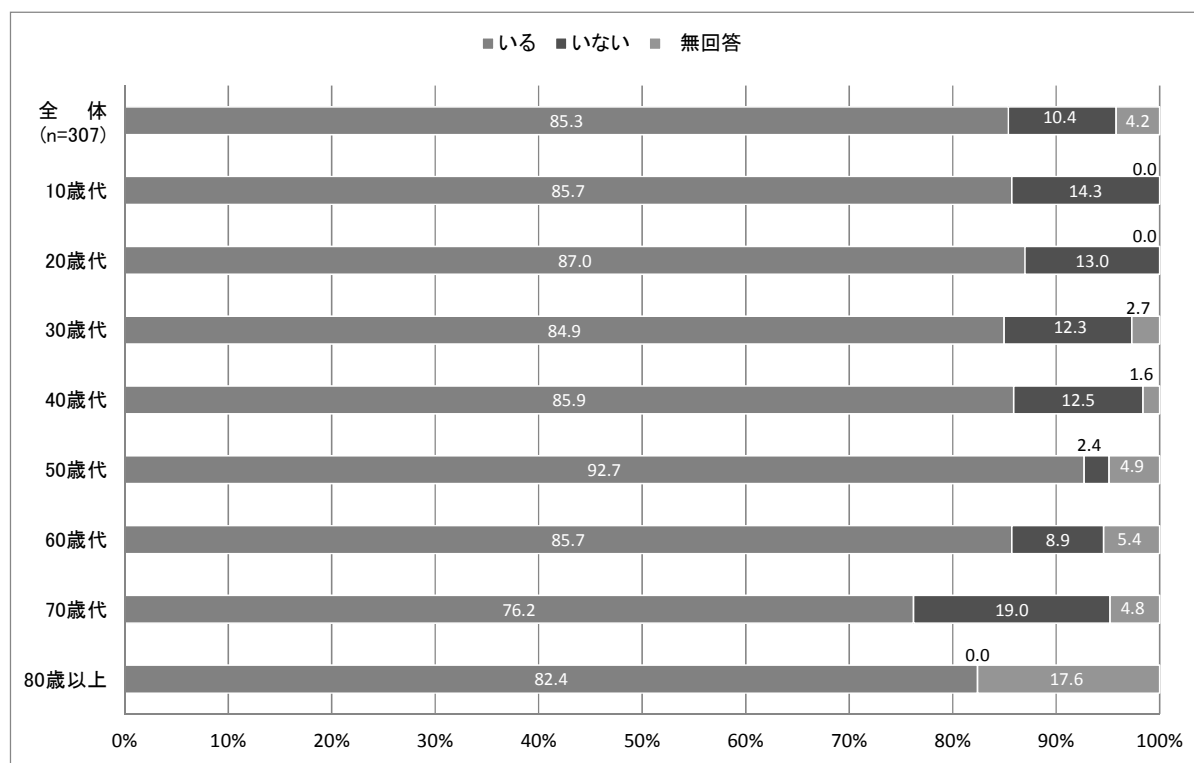
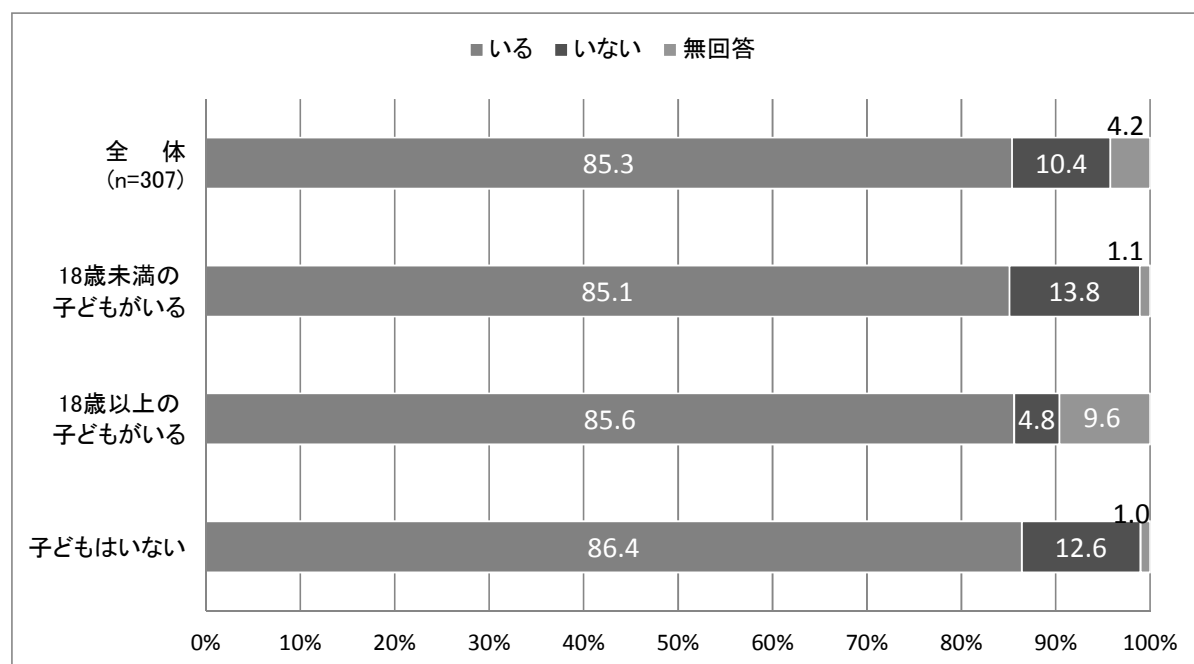


図４１ Q１１ あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。

【おとな—子どもの有無別】



イ 相談・救済機関の認知度

【子ども—年齢別】

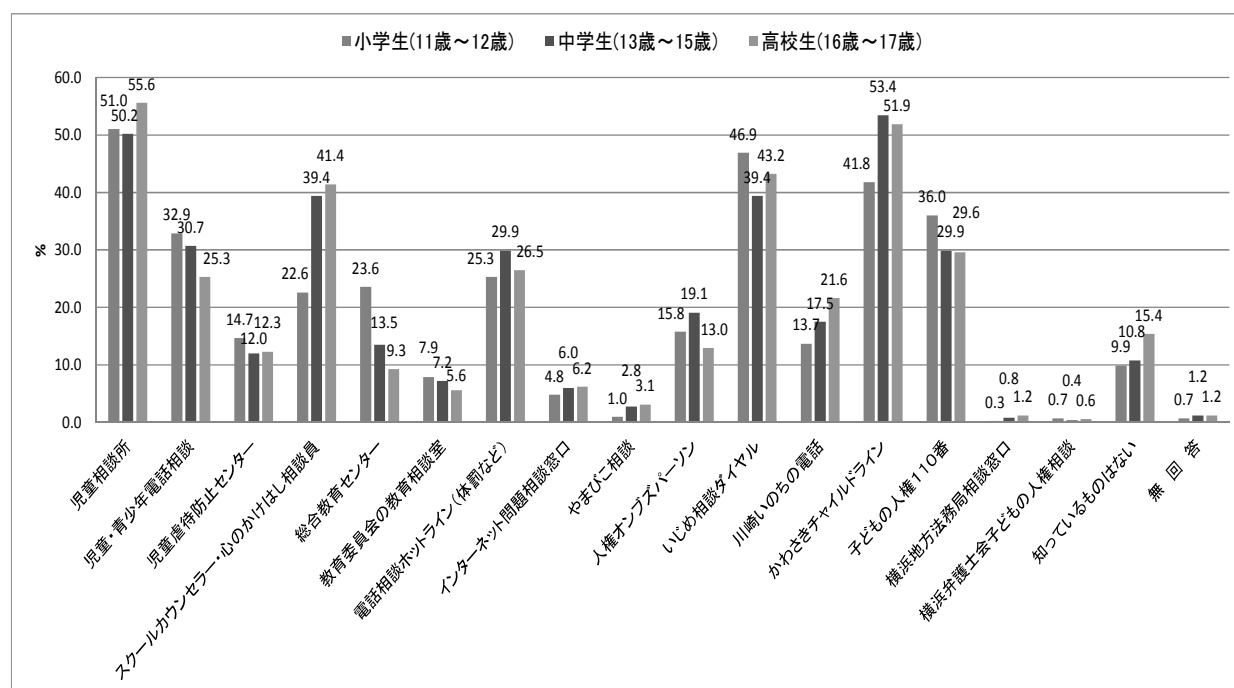
子どもに対して、知っている相談・救済機関をたずねたところ、小学生世代では、「児童相談所」の51.0%が最も高く、次いで「いじめ相談ダイヤル」で46.9%、「かわさきチャイルドライン」で41.8%であった。

中学生世代では、「かわさきチャイルドライン」の53.4%が最も高く、次いで「児童相談所」の50.2%、「スクールカウンセラー・心のかけはし相談員」の39.4%であった。

高校生世代では、「児童相談所」の55.6%が最も高く、次いで「かわさきチャイルドライン」で51.9%、「いじめ相談ダイヤル」で43.2%であった。

年齢が高くなるにつれ、「知っているものはない」という割合が高くなり、高校生世代で15.4%であった。

図4-2 Q9 次のような川崎市の子どもの相談を受けてくれるところを知っていますか。【子ども—年齢別】



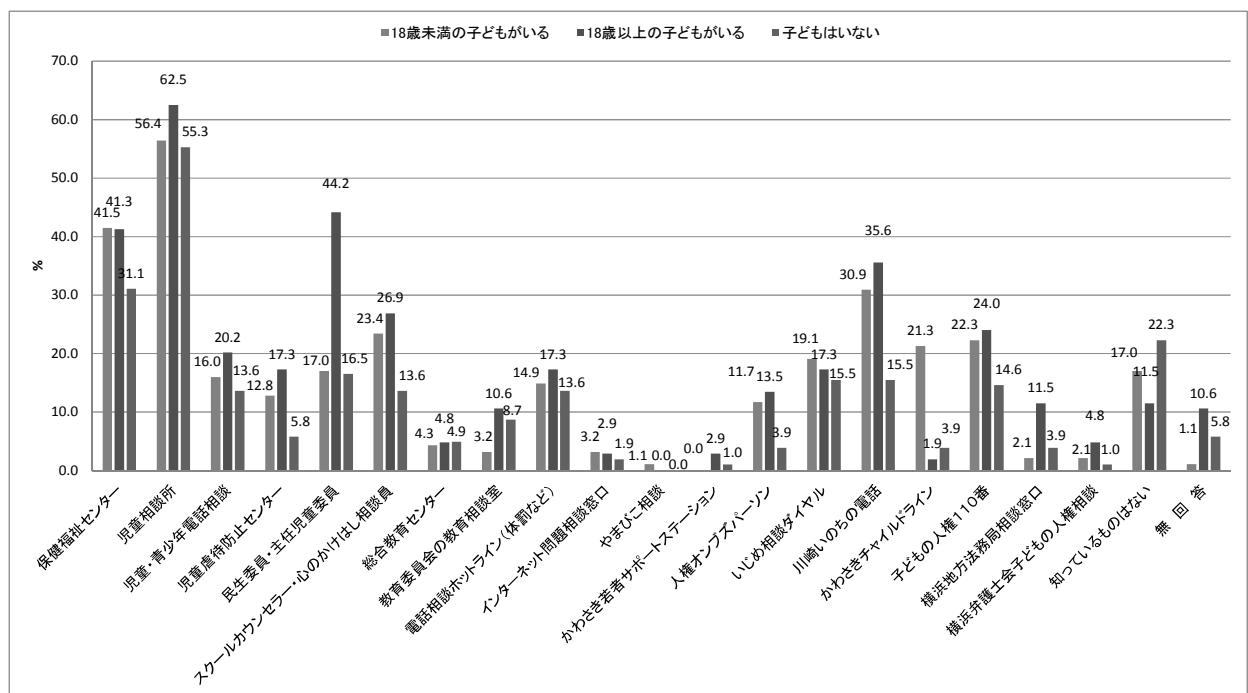
【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、知っている相談・救済機関をたずねたところ、子どもの有無別では、「18歳未満の子どもがいる」おとなは、「児童相談所」が56.4%と最も割合が高く、次いで、「保健福祉センター」が41.5%、「川崎いのちの電話」が30.9%であった。「18歳以上の子どものいる」おとなは、「児童相談所」が62.5%と最も割合が高く、次いで「民生委員・主任児童委

員」が44.2%、「保健福祉センター」が41.3%であった。「子どもはいない」おとなは、「児童相談所」が55.3%と最も高く、次いで「保健福祉センター」が31.1%、「民生委員・主任児童委員」が16.5%であった。

「知っているものはない」の回答は、「子どもはいない」おとなが最も多く、22.3%であった。

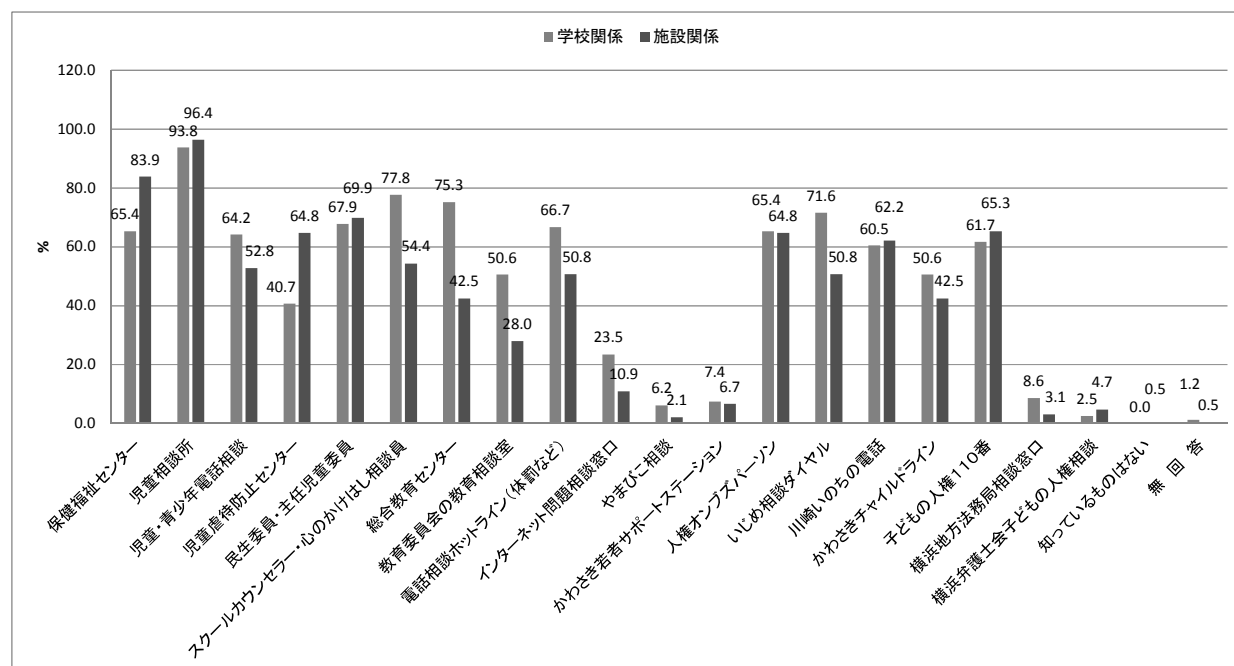
図4-3 Q16 川崎市には次のような子どもの相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

相談・救済機関についての職員の認知度は、当然のことながら、子ども・おとなに比べて高い。学校・施設別に職員の回答をみると、「保健福祉センター」「児童虐待防止センター」などは施設関係の職員の認知度が学校関係の職員を大きく上回り、逆に、「児童・青少年電話相談」「スクールカウンセラー・心のかけはし相談員」「川崎市総合教育センター」「教育委員会の教育相談室」などは、学校関係の職員の認知度の方が上回った。

図 4 4 Q 1 2 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。
【職員—学校・施設別】

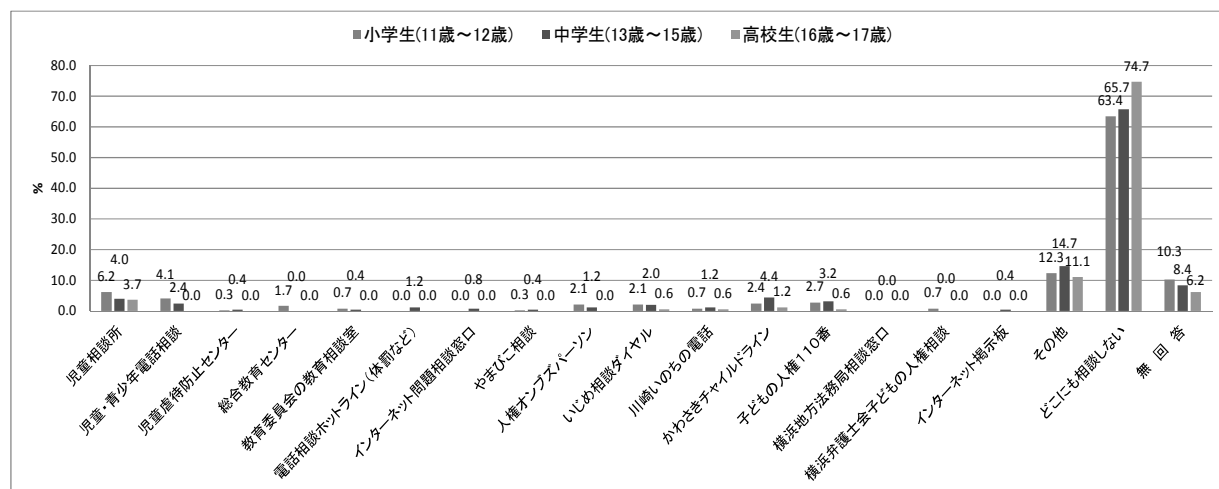


ウ 利用しようと思う相談機関・救済制度

【子ども—年齢別】

子どもに対し、利用しようと思う相談機関・救済制度をたずねたところ、年齢別に見ると、すべての年代において「どこにも相談しない」という回答の割合が最も高く、またその割合は小学生世代から高校生世代へと年齢が上がるにつれて高くなる（小学生 63.4%→中学生 65.7%→高校生 74.7%）。次いですべての年代において回答の割合が高かったのは「その他」であるが、「児童相談所」「かわさきチャイルドライン」などの回答が比較的多かった。

図 4 5 Q 1 0 困ったり悩んだりしたとき、どこに相談しますか【子ども—年齢別】



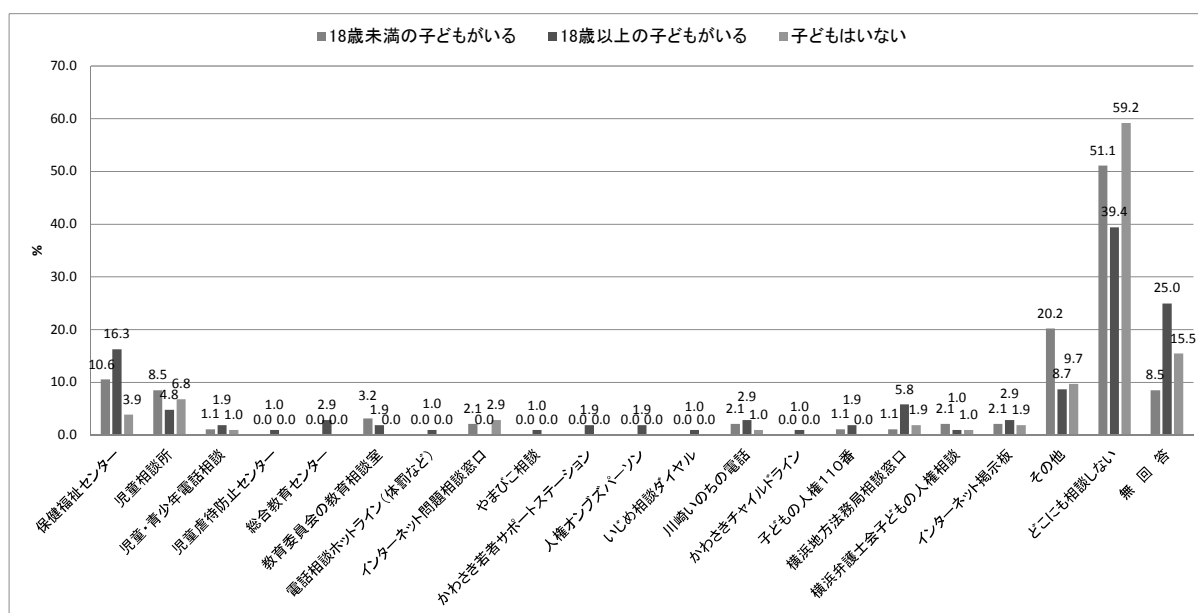
【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、利用しようと思う相談機関・救済制度をたずねたところ、「18 歳未満の子どもがいる」「18 歳以上の子どもがいる」おとな、「子どもはいない」おとなともに、「どこにも相談しない」という回答の割合が一番高かった（51.1%、39.4%、59.2%）。

次いで割合が高かったのは、「18 歳未満の子どもがいる」おとなが「その他」（20.2%）、「18 歳以上の子どもがいる」おとなが「保健福祉センター」（16.3%）、「子どもはいない」おとなが「その他」（9.7%）であった。

図 4 6 Q 1 6 あなたは、子どものことで困ったり悩んだりしたとき、どこに相談しますか

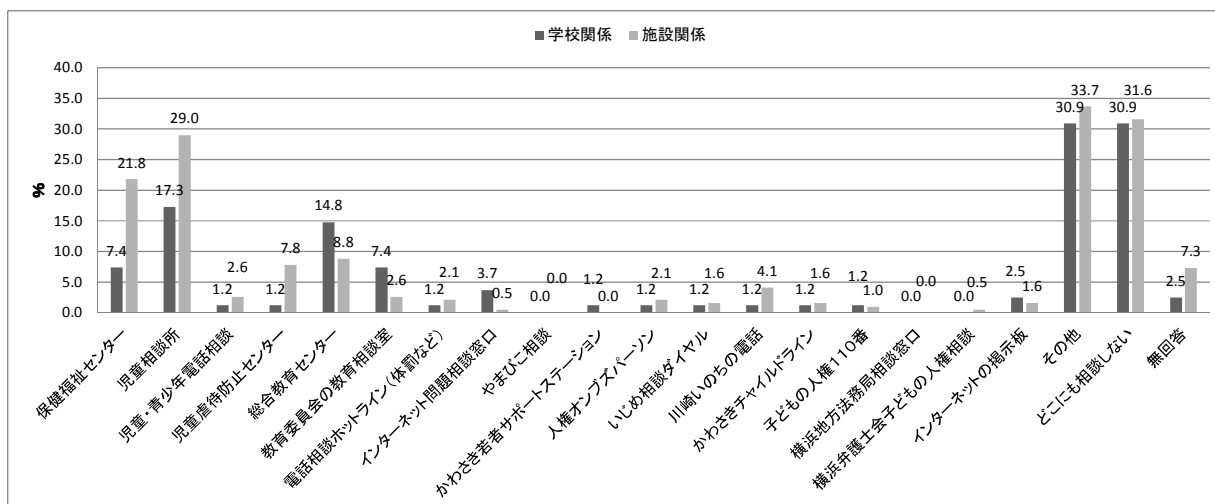
【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

職員に対し、利用しようと思う相談機関・救済制度をたずねたところ、学校関係の職員で最も回答の割合が高かったのは「その他」「どこにも相談しない」で30.9%、次いで「総合教育センター」14.8%であった。施設関係の職員で最も回答の割合が高かったのは「その他」で33.7%、次いで「どこにも相談しない」31.6%、「児童相談所」29.0%であった。

図47 Q13 あなたは、子どものことで困ったり悩んだりしたとき、どこに相談しますか【職員—学校・施設別】



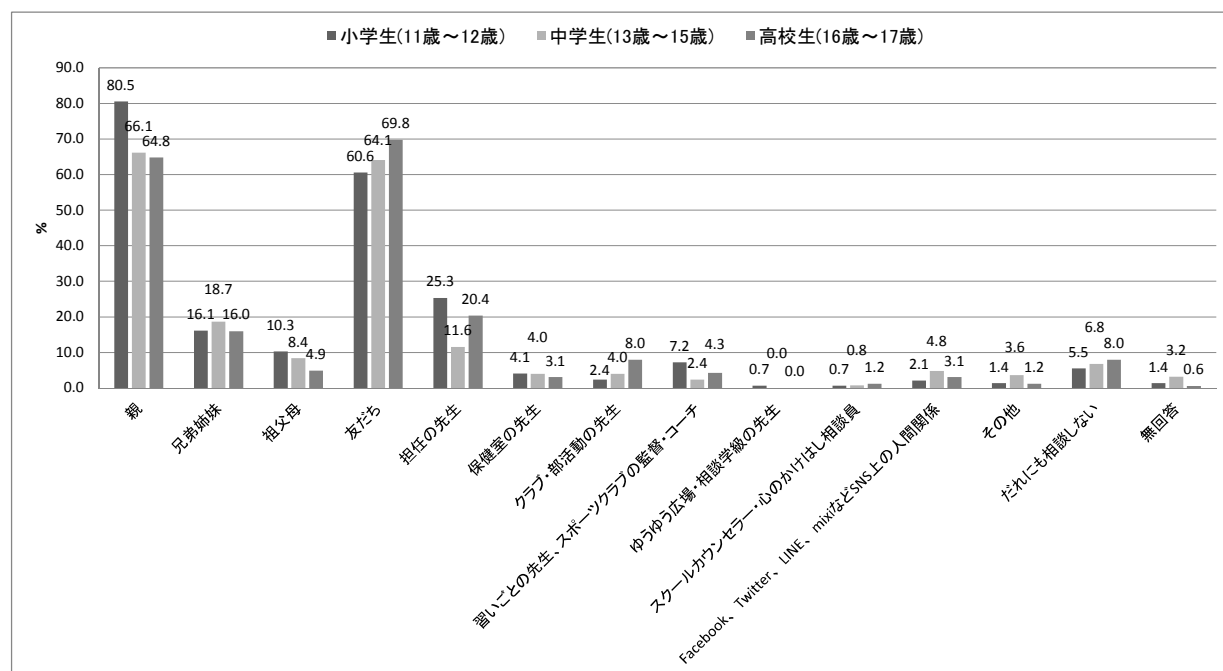
エ 相談しようと思う人

【子ども—年齢別】

子どもに対し、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談するかをたずねたところ、年齢別に見ると、小学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「親」で80.5%、次いで、「友だち」で60.6%、「担任の先生」で25.3%であった。中学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「親」で66.1%、次いで「友だち」60.6%、「兄弟姉妹」18.7%であった。高校生世代で最も回答の割合が高かったのは、「友だち」で69.8%、次いで「親」64.8%、「担任の先生」20.4%であった。

「だれにも相談しない」という回答は、小学生世代で5.5%、中学生世代で6.8%、高校生世代で8.0%と年齢が上がるにしたがってわずかながら増加する。

図48 Q10 困ったり悩んだりしたとき、だれに相談しますか【子ども一年齢別】



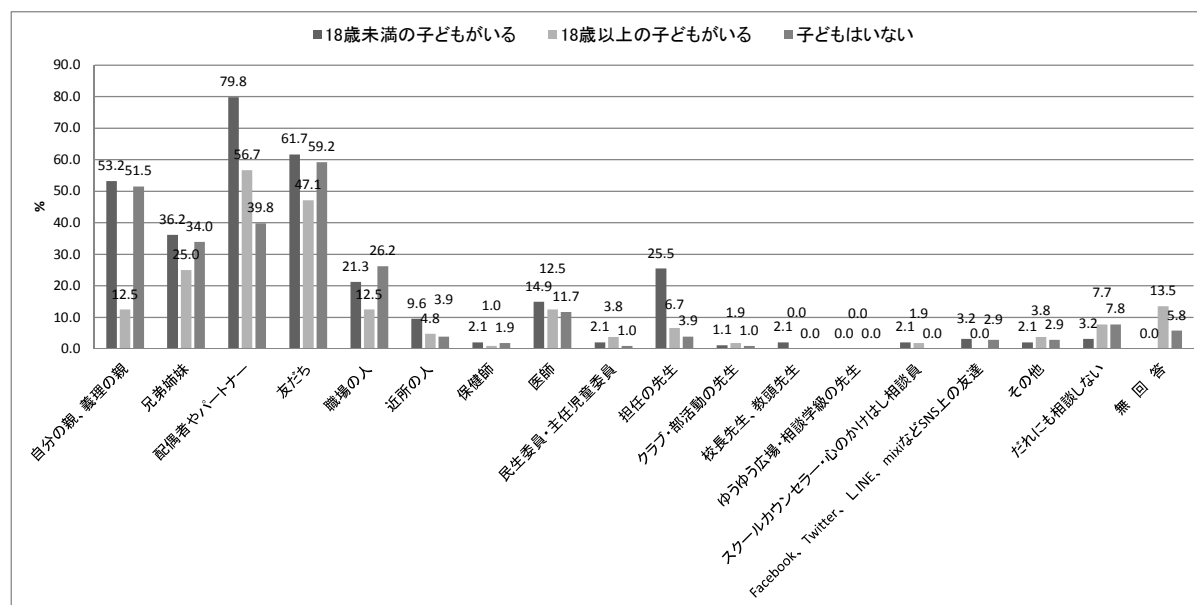
【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談するかをたずねたところ、子どもの有無別でみると、「18歳未満の子どもがいる」おとなで最も割合が高かったのは、「配偶者やパートナー」で79.8%、次いで「友だち」61.7%、「自分の親、義理の親」53.2%であった。

「18歳以上の子どもがいる」おとなで最も割合が高かったのは、「配偶者やパートナー」で56.7%、次いで「友だち」47.1%、「兄弟姉妹」25.0%であった。「子どもはいない」おとなで最も割合が高かったのは、「友だち」で59.2%、次いで「自分の親、義理の親」51.5%、「配偶者やパートナー」で39.8%であった。

図49 Q16 あなたは、子どものことで困ったり悩んだりしたとき、だれに相談しますか

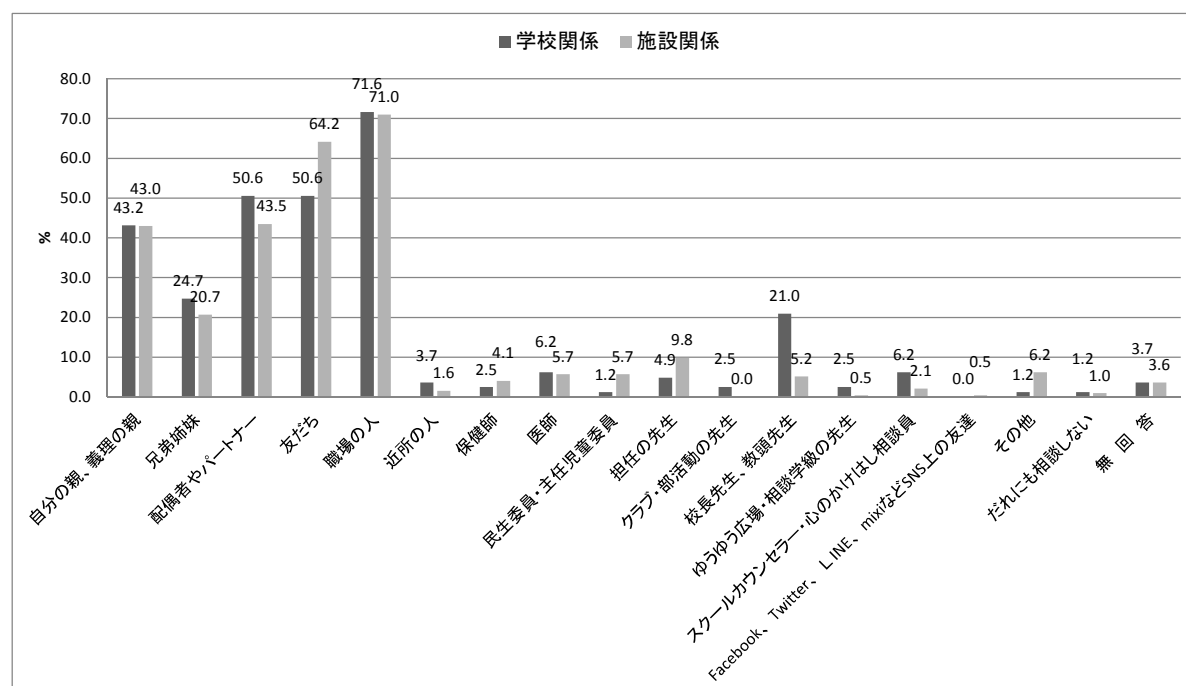
【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

職員に対し、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談するかをたずねたところ、学校・施設別にみると、学校関係の職員の場合は、最も割合が高いのは「職場の人」で71.6%、次いで「配偶者やパートナー」「友だち」が50.6%、「自分の親、義理の親」が43.2%であった。施設関係の職員の場合は、最も割合が高いのは「職場の人」で71.0%、次いで「友だち」64.2%、「配偶者やパートナー」43.5%であった。

図50 Q13 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、だれに相談しますか【職員—学校・施設別】



(2) 参加

①子どもの参加

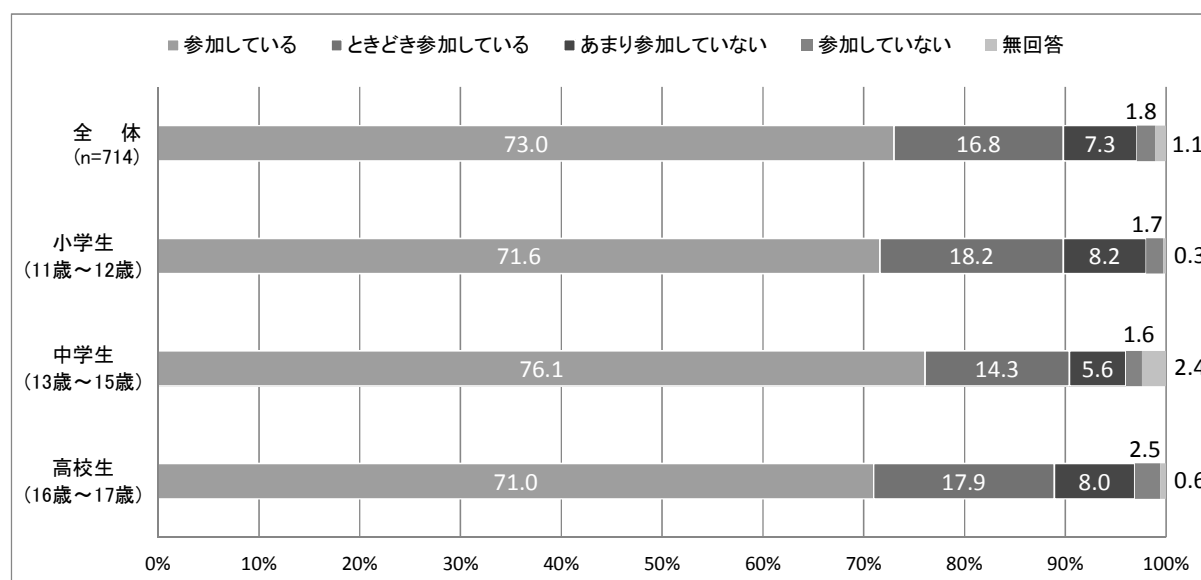
ア 学校における子ども参加

【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校の行事や話し合いに参加しているかをたずねたところ、子ども全体では、「参加している」が73.0%、「ときどき参加している」が16.8%、「あまり参加していない」が7.3%、「参加していない」が1.8%であった。

年齢別にみると、「参加している」と「ときどき参加している」を合わせた回答は、小学生世代で89.8%、中学生世代で90.4%、高校生世代で88.9%と、大きな隔たりはなかった。

図5-1 Q1-1 あなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか【子ども一年齢別】

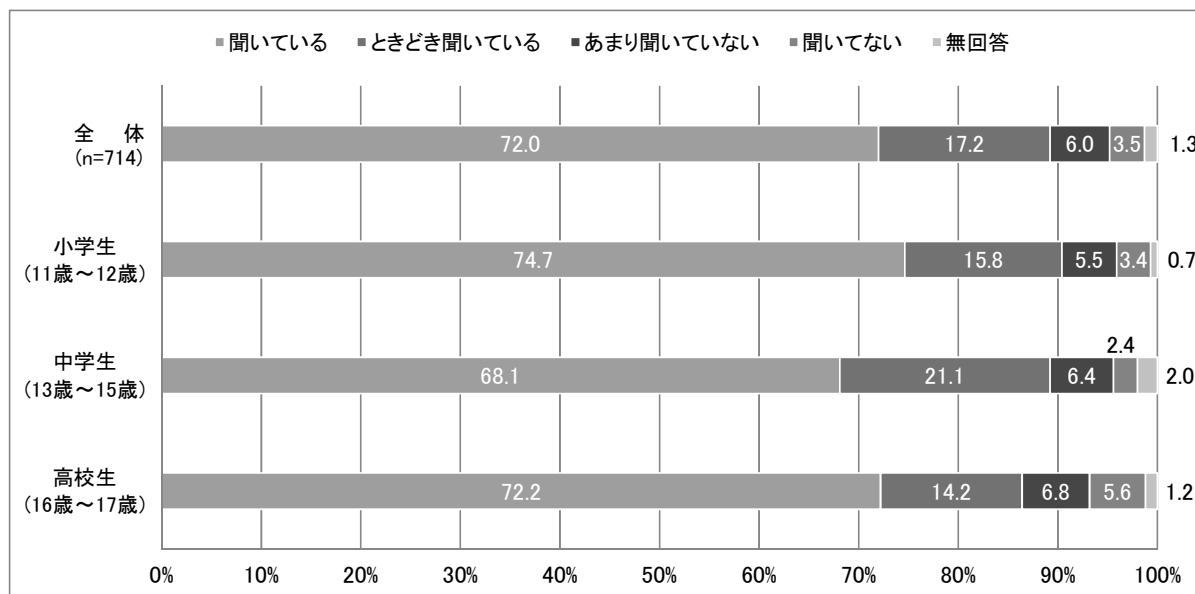


【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校の行事を決めるとき、先生は子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、子ども全体では「聞いている」という回答が72.0%、「ときどき聞いている」が17.2%、「あまり聞いている」が6.0%、「聞いていない」が3.5%であった。

年齢別に見ると、「聞いている」という回答は小学生世代が74.7%で最も高く、中学生世代が68.1%、高校生世代が72.2%であった。

図 5 2 Q 1 2 学校の行事を決めるとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか【子ども一年齢別】



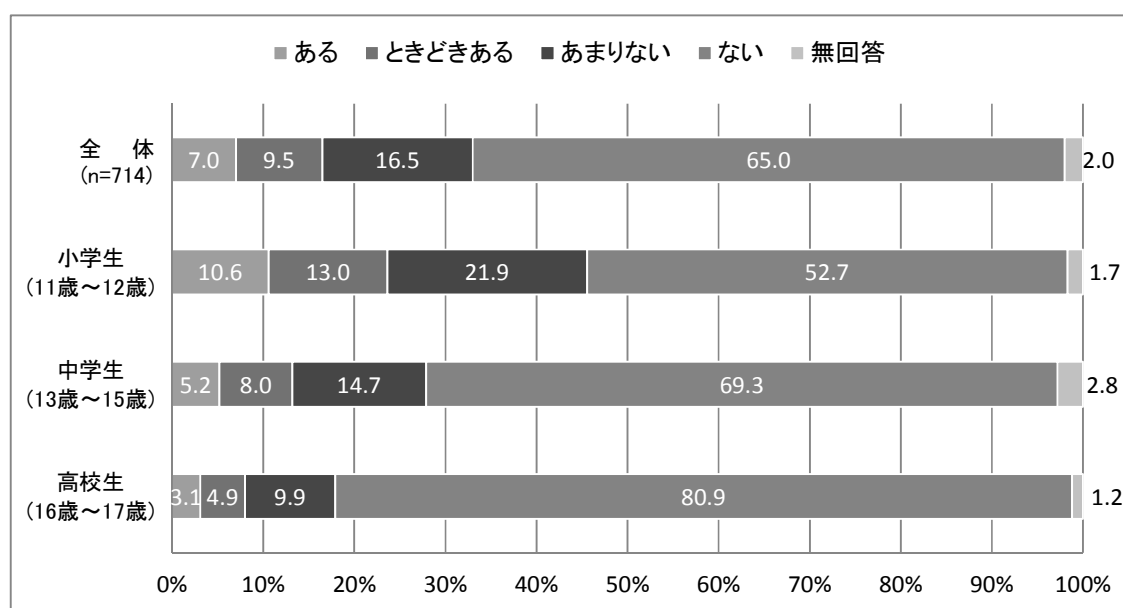
イ 地域における子ども参加

【子ども一年齢別】

子どもに対し、地域の行事や話し合いに参加することがあるかをたずねたところ、子ども全体では、「ある」という回答が 7.0%、「ときどきある」が 9.5%、「あまりない」が 16.5%、「ない」が 65.0%であった。

年齢別に見ると、「ある」と「ときどきある」を合わせた回答は、小学生世代が 23.6%、中学生世代が 13.2%、高校生世代が 8.0%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 5 3 Q 1 8 あなたは、地域の行事や話し合いに参加することができますか【子ども一年齢別】

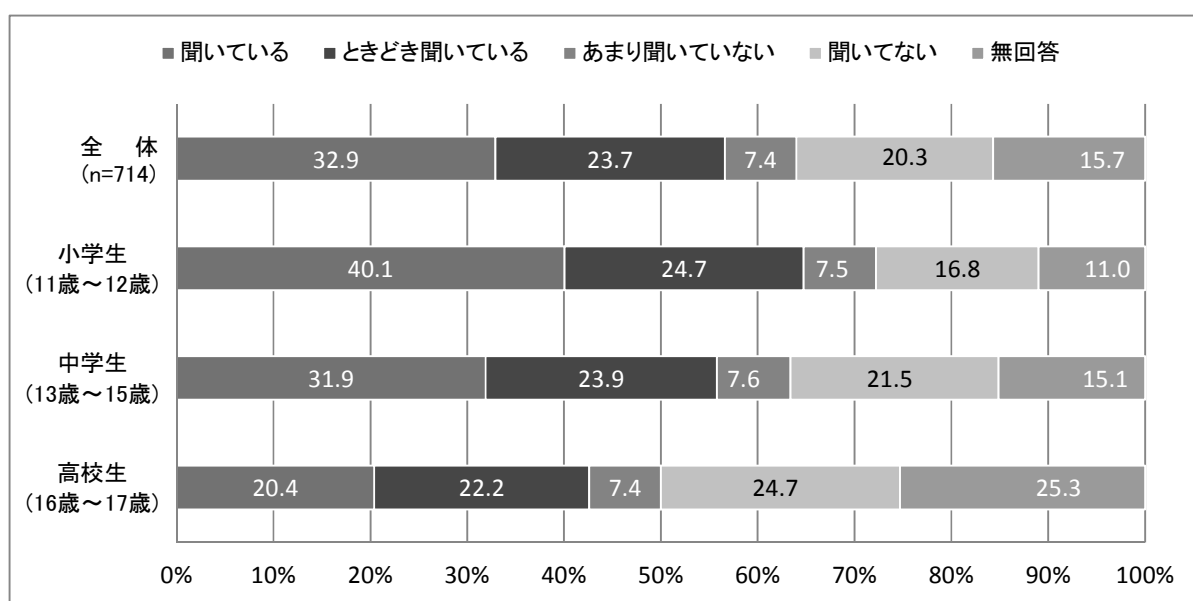


【子ども一年齢別】

子どもに対し、地域の行事などを決めるとき、おとなは子どもの意見をきいているかをたずねたところ、子ども全体では「聞いている」が 32.9%、「ときどき聞いている」が 23.7%、「あまり聞いていない」が 7.4%、「聞いていない」が 20.3%であった。「無回答」が多いのは、地域の活動に参加していない子どもが回答しなかった割合が含まれているためと思われる。

年齢別にみると、小学生世代で「聞いている」「ときどき聞いている」という回答をあわせて 64.8%あったが、中学生世代で 55.8%、高校生世代で 42.6%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図54 Q19 地域の行事などを決めるとき、おとなは、あなたの意見を聞いていますか【子ども一年齢別】



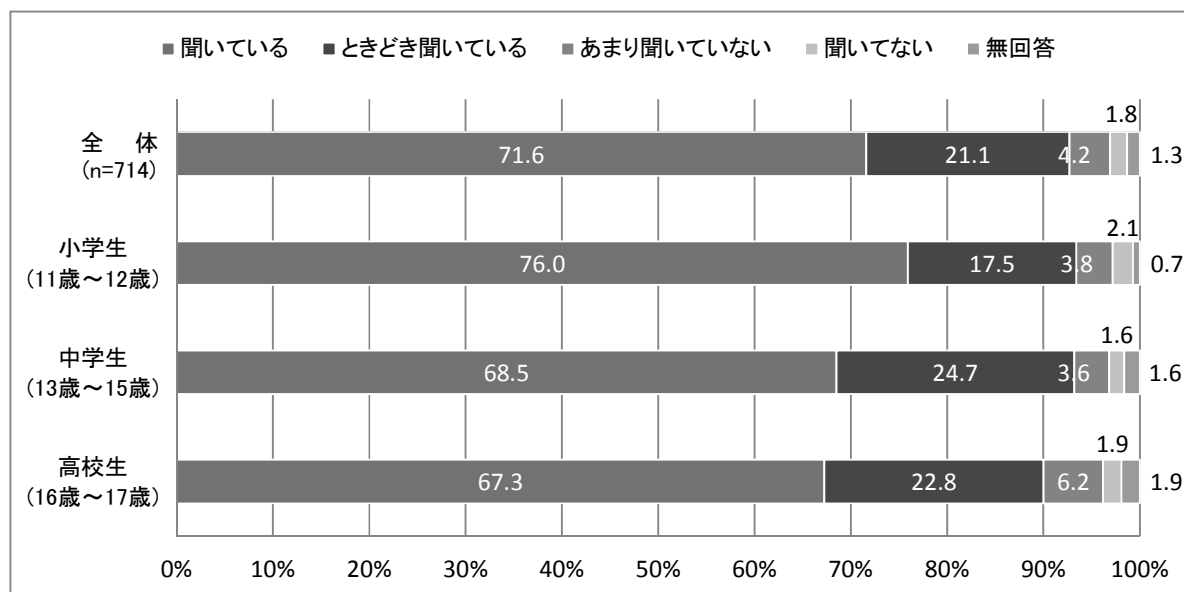
ウ 家庭における子ども参加

【子ども一年齢別】

子どもに対し、家で何かを決めるとき、おとなは子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、子ども全体では、「聞いている」が 71.6%、「ときどき聞いている」が 21.1%、「あまり聞いていない」が 4.2%、「聞いていない」が 1.8%であった。

年齢別にみると、「聞いている」と「ときどき聞いている」を合わせた回答は、いずれも 90%を超えているが、小学生世代で 93.5%、中学生世代で 93.2%、高校生世代で 90.1%と、年齢が上がるにしたがって若干減少している。

図5-5 Q2-3 家で何かを決めるとき、おとなは子どもの意見を聞いていますか【子ども一年齢別】



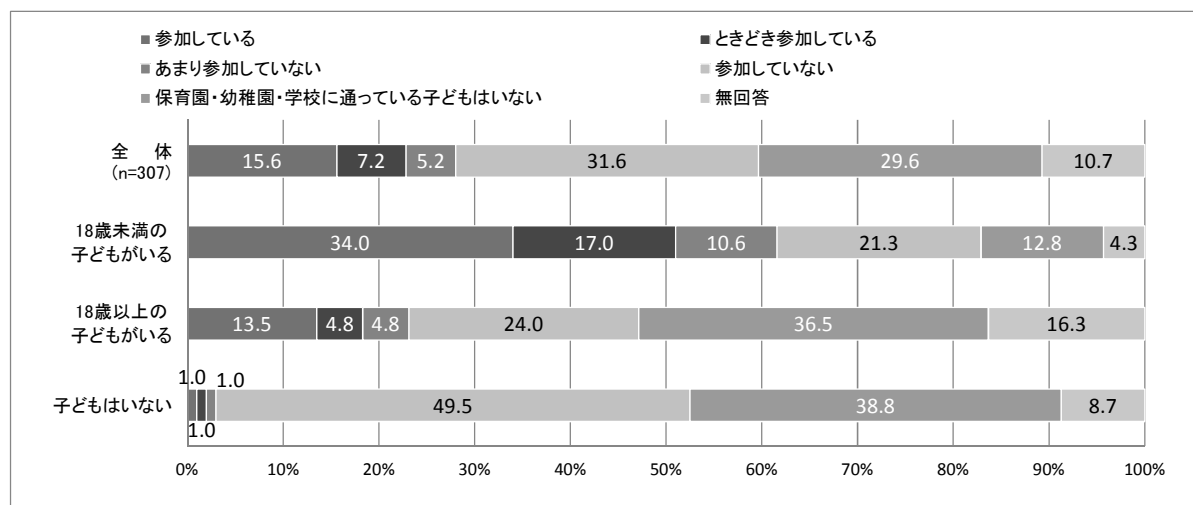
②おとなの参加

【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、保育園・幼稚園・学校の行事や学校での話し合いに参加するかをたずねたところ、おとな全体では、「参加している」が15.6%、「ときどき参加している」が7.2%、「あまり参加していない」が5.2%、「参加していない」が31.6%、「保育園・幼稚園・学校に通っている子どもはいない」が29.6%であった。

子どもの有無別でみると、「18歳未満の子どもがいる」おとなでは、「参加している」「ときどき参加している」を合わせて51.0%であるのに対し、「18歳以上の子どもがいる」おとなは18.3%、「子どもはいない」おとなは2.0%であった。

図 5 6 Q 1 8 保育園・幼稚園・学校の行事や学校での話し合い（たとえば、PTA など）に参加していますか
【おとな—子どもの有無別】

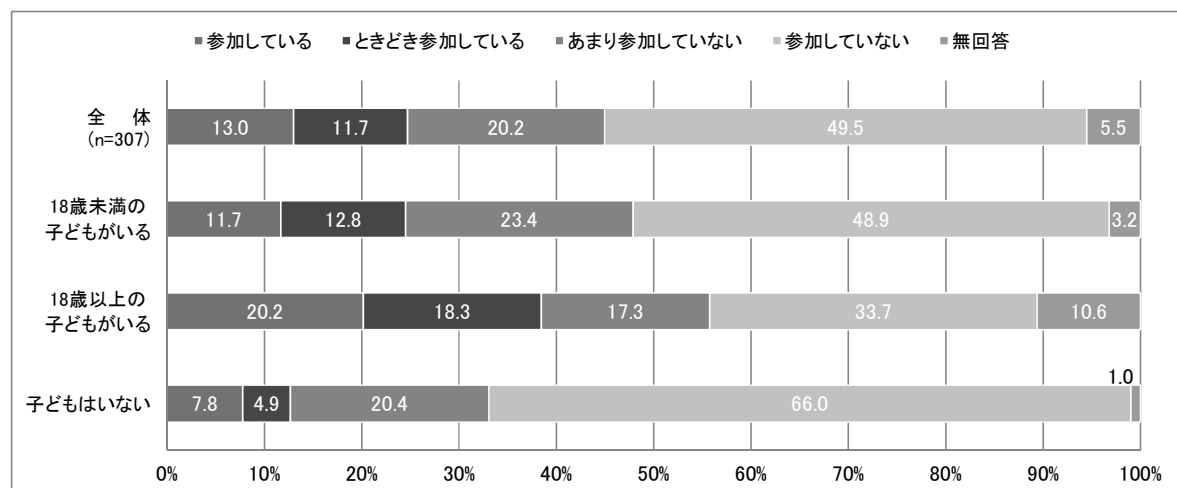


【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、地域の行事や話し合いに参加するかをたずねたところ、おとな全体では、「参加している」が 13.0%、「ときどき参加している」が 11.7%、「あまり参加していない」が 20.2%、「参加していない」が 49.5%であった。

子どもの有無別でみると、「参加している」「ときどき参加している」を合わせた回答は、「18歳未満の子どもがいる」おとなが 24.5%、「18歳以上の子どもがいる」おとなが 38.5%で、「子どもはいない」おとなは 12.7%と最も低かった。

図 5 7 Q 2 1 あなたは、地域の行事や話し合いに参加していますか。【おとな—子どもの有無別】



【おとな—子どもの有無別】

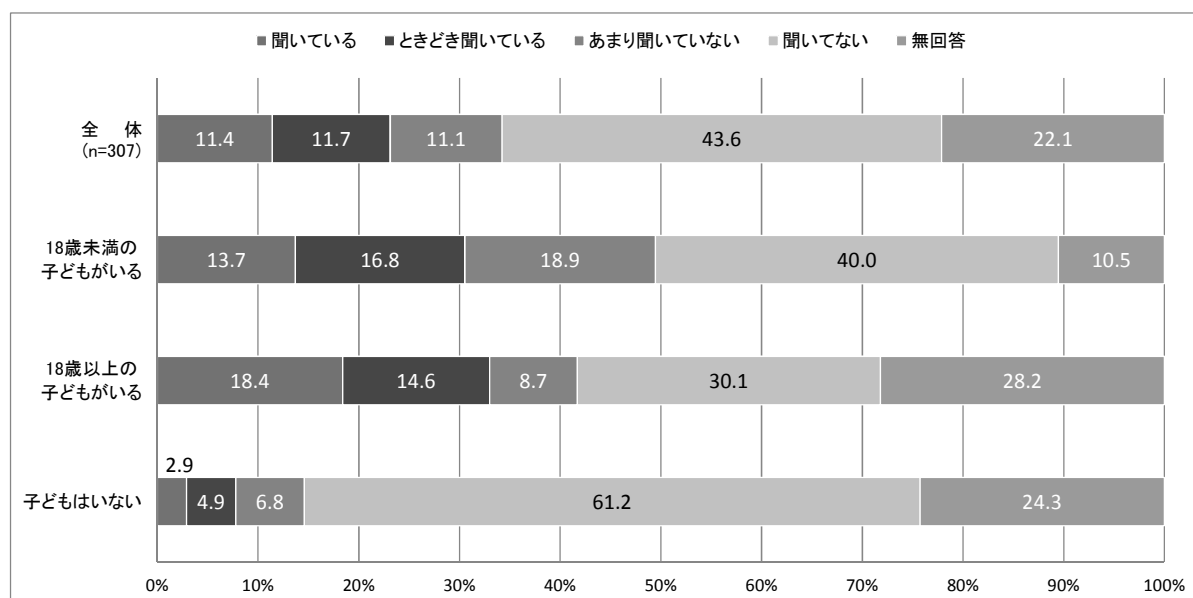
おとなに対し、地域の行事などを決めるときに子どもの意見をきいているかをたずねたところ、おとな全体では、「聞いている」が11.4%、「ときどき聞いている」が11.7%、「あまり聞いている」が11.1%、「聞いていない」が43.6%であった。「無回答」が多いのは、地域の活動に参加していないおとなが回答しなかった割合が含まれているためと思われる。

子どもの有無別でみると、「聞いている」「ときどき聞いている」を合わせた回答は、「18歳未満の子どもがいる」おとなで30.5%、「18歳以上の子どもがいる」おとなでは33.0%であった。

「無回答」は「18歳以上の子どもがいる」おとなが28.2%、「子どもはいない」おとなが24.3%と高かった。

図58 Q22 あなたは、地域の行事などを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか

【おとな—子どもの有無別】



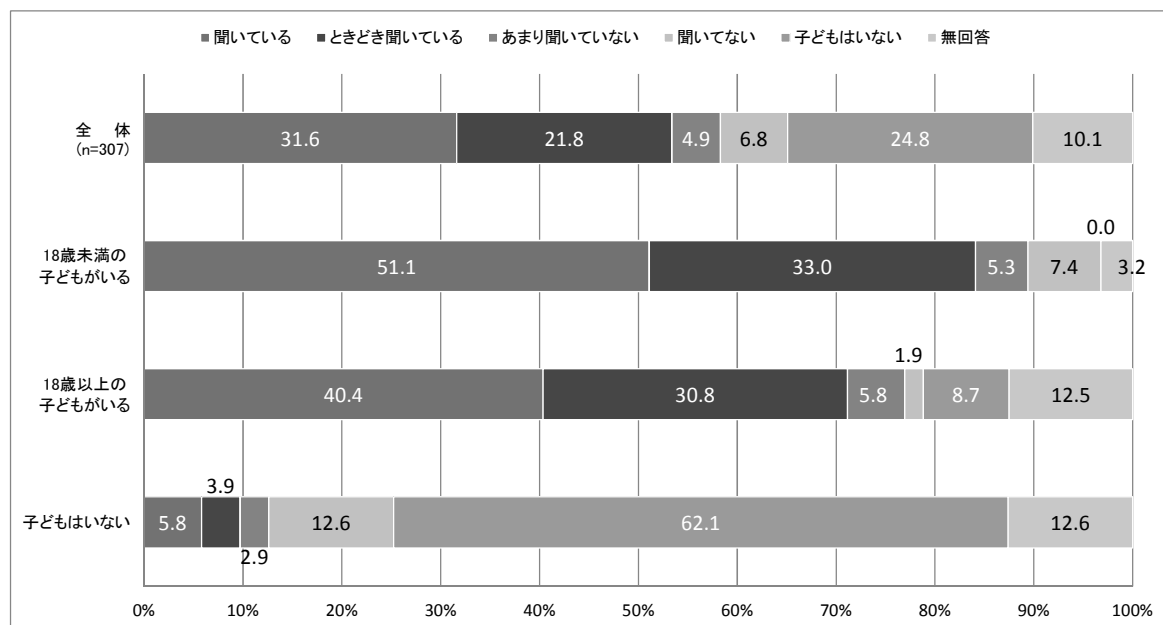
【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、家の中で何かを決めるときに子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、おとな全体では、「聞いている」が31.6%、「ときどき聞いている」が21.8%、「あまり聞いている」が4.9%、「聞いていない」が6.8%であった。

子どもの有無別でみると、「聞いている」「ときどき聞いている」を合わせた回答は、「18歳未満の子どもがいる」おとなは84.1%であるが、「18歳以上の子どもがいる」おとなでは71.2%と減少する。

図59 Q26 あなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか

【おとな—子どもの有無別】

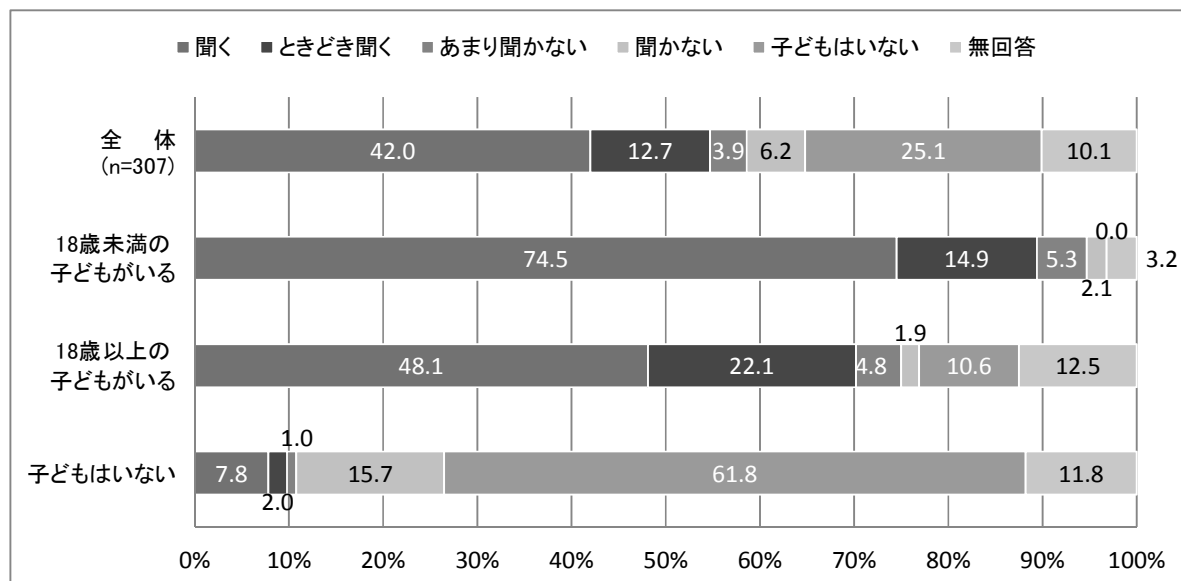


【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、普段家で子どもの話を聞くかをたずねたところ、おとな全体では、「聞いている」が42.0%、「ときどき聞いている」が12.7%、「あまり聞いていない」が3.9%、「聞いていない」が6.2%であった。

子どもの有無別でみると、「聞いている」「ときどき聞いている」を合わせた回答は、「18歳未満の子どもがいる」おとなで89.4%であるが、「18歳以上の子どもがいる」おとなでは70.2%と減少する。

図60 Q27 あなたは、普段家で子どもの話を聞きますか。【おとな—子どもの有無別】

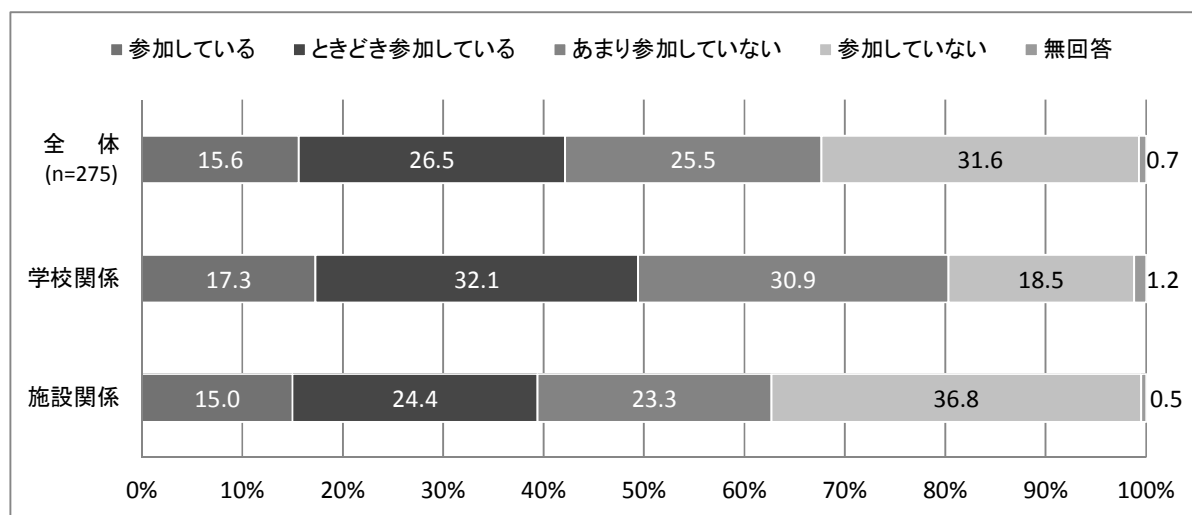


③職員の参加

【職員—学校・施設別】

職員に対し、職場のある地域の行事や話し合いに参加するかをたずねたところ、「参加している」「ときどき参加している」をあわせた回答の割合は、学校関係の職員が 49.4%、施設関係の職員が 39.4%であった。

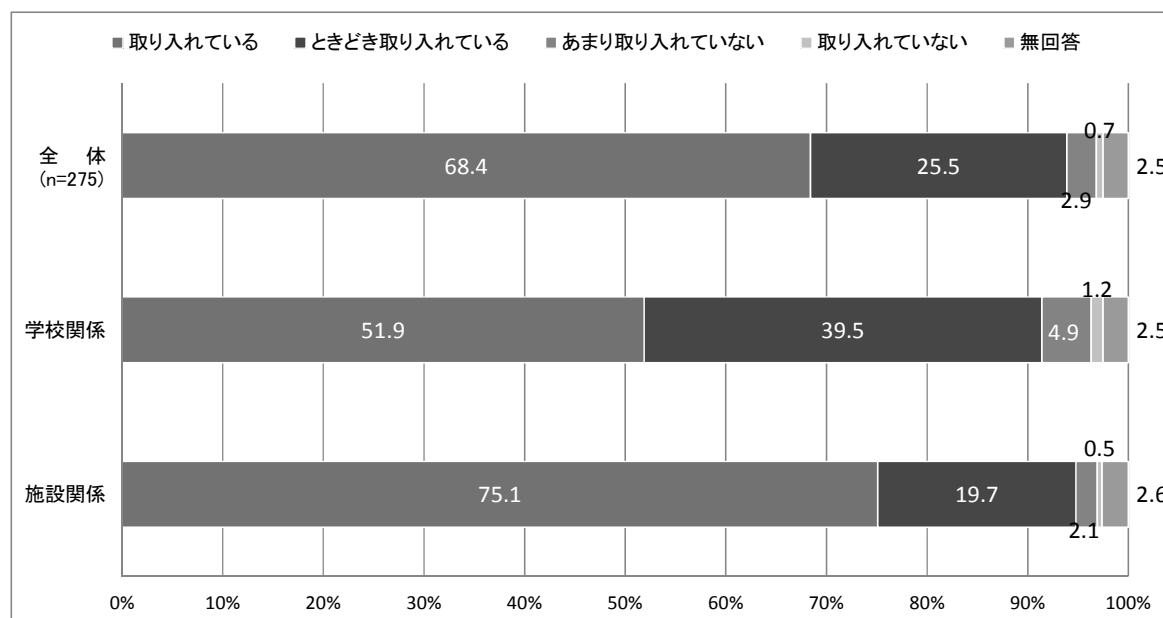
図 6 1 Q 1 6 あなたは、職場のある地域の行事や話し合いに参加していますか。【職員—学校・施設別】



【職員—学校・施設別】

職員に対し、職場で子どもに関わることを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れているかをたずねたところ、「取り入れている」「ときどき取り入れている」を合わせた回答の割合は、学校関係の職員が 91.4%で、施設関係の職員は 94.8%であった。

図 6 2 Q 1 7 あなたは、職場で子どもに関わることを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか
【職員—学校・施設別】

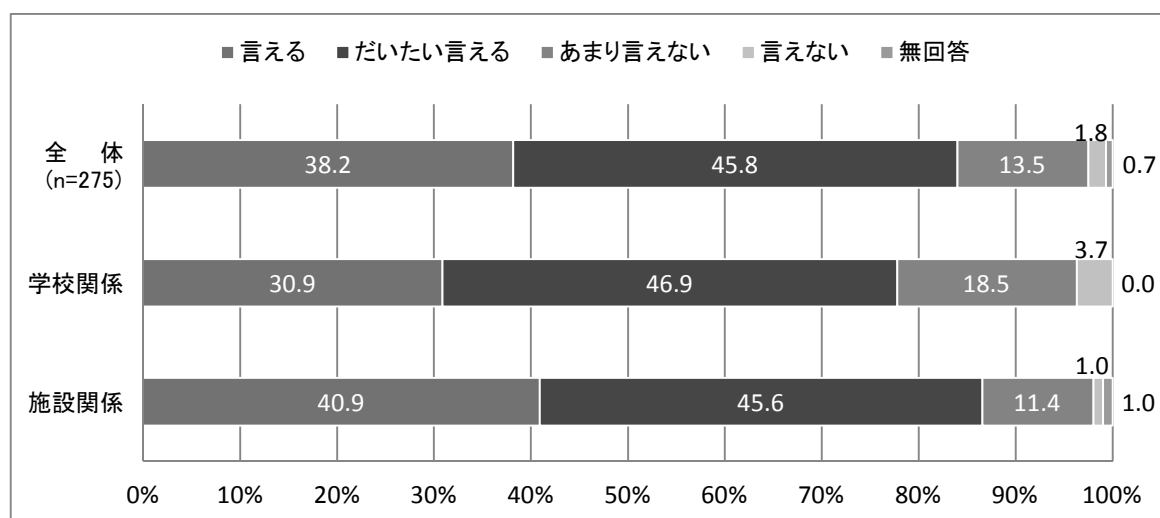


【職員—学校・施設別】

職員に対し、職場で子どもに関わることを決めるときに自分の思いや考えを自由に言えるかをたずねたところ、「言える」「だいたい言える」を合わせた回答の割合は、学校関係の職員が 77.8%で、施設関係の職員は 86.5%であった。

図 6 3 Q 1 8 あなたは、職場で子どもに関わることを決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えますか。

【職員—学校・施設別】



(3) 安心できる居場所・話を聞いてくれる人・自由な時間の有無

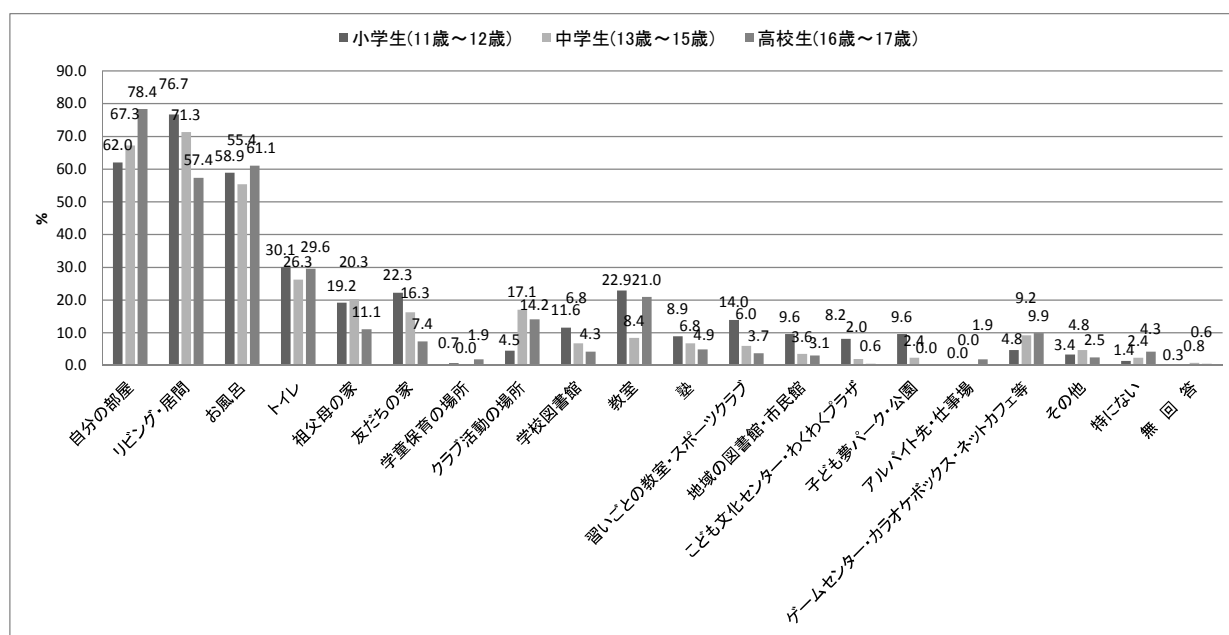
① 安心できる居場所

ア 学校・家庭・地域全般について

【子ども一年齢別】

子どもに対し、ホッとできる場所はどこかをたずねたところ、小学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「リビング・居間」の76.7%で、次いで「自分の部屋」62.0%、「お風呂」58.9%であった。中学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「リビング・居間」の71.3%で、次いで「自分の部屋」67.3%、「お風呂」55.4%であった。高校生世代で最も回答の割合が高かったのは、「自分の部屋」の78.4%で、次いで「お風呂」61.1%、「リビング・居間」で57.4%であった。

図6-4 Q25 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。【子ども一年齢別】



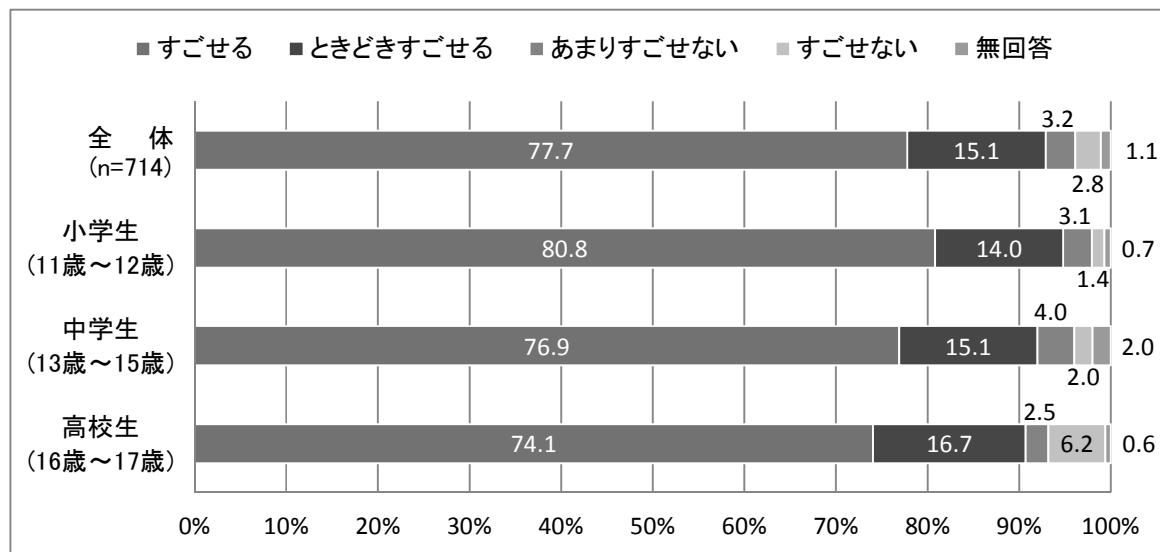
イ 学校について

【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校で休み時間や放課後に安心して好きなようにすごせるかをたずねたところ、子ども全体では、「すごせる」という回答が77.7%、「ときどきすごせる」という回答が15.1%、「あまりすごせない」が3.2%、「すごせない」が2.8%であった。

年齢別にみると「すごせる」「ときどきすごせる」をあわせた回答は、小学生世代では94.8%、中高生世代では92.0%、高校生世代では90.8%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 6 5 Q 1 6 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心して好きなようにすごせますか。【子ども一年齢別】

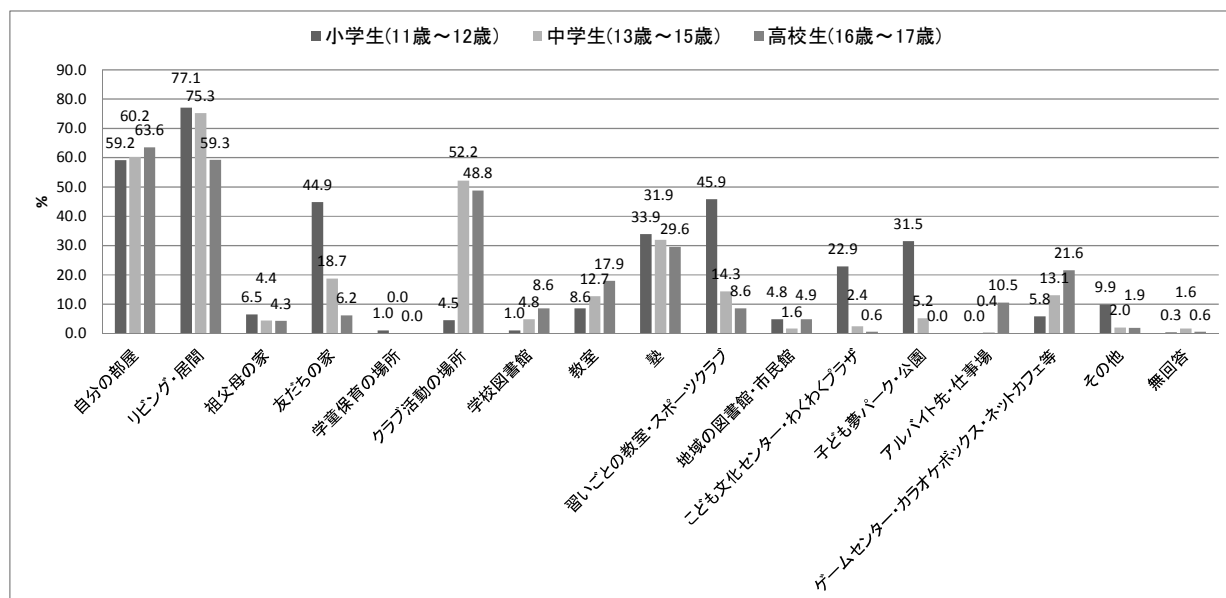


【子ども一年齢別】

子どもに対し、放課後どこですごすかをたずねたところ、小学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「リビング・居間」の 77.1%で、次いで「自分の部屋」59.2%、「習い事の教室・スポーツクラブ」45.9%であった。中学生世代で最も回答の割合が高かったのは、「リビング・居間」の 75.3%で、次いで「自分の部屋」60.2%、「クラブ活動の場所」52.2%であった。高校生世代で最も回答の割合が高かったのは、「自分の部屋」の 63.6%で、次いで「リビング・居間」59.3%、「クラブ活動の場所」48.8%であった。

「自分の部屋」と回答する割合は、年齢が上がるにしたがって増加している。逆に、「リビング・居間」と回答する割合は、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 6 6 Q 1 7 あなたは、放課後どこですごしますか【子ども一年齢別】



② 話を聞いてくれる人（学校・地域・家庭）

ア 学校で話を聞いてくれる先生・友だちの有無

<先生>

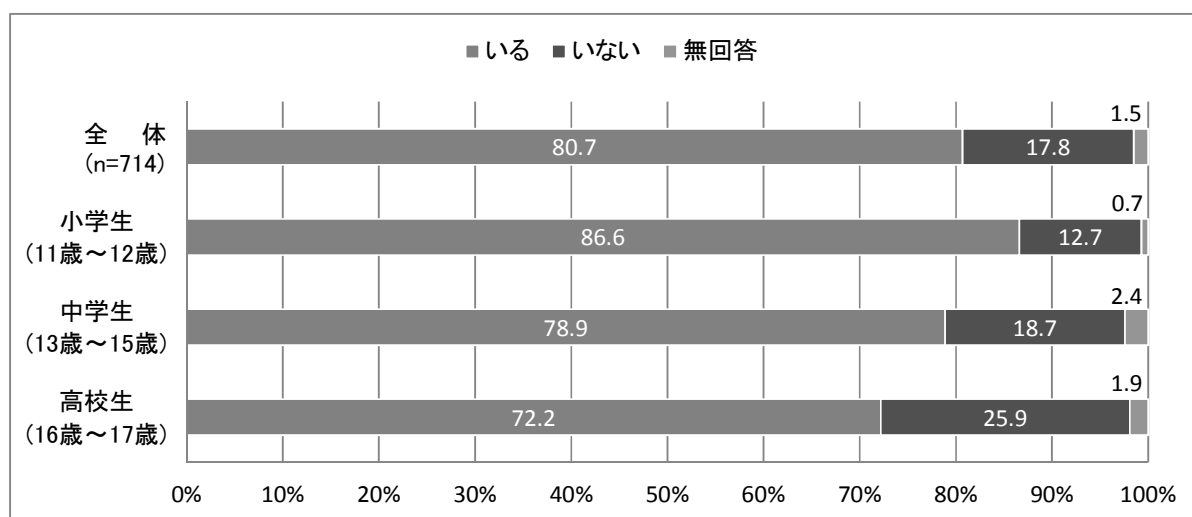
【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校には自分の話を聞いてよくわかってくれる先生がいるかをたずねたところ、子ども全体では、80.7%の子どもが「いる」と回答し、17.8%の子どもが「いない」と回答していた。

年齢別に見ると、小学生世代では86.6%の子どもが「いる」と回答しているが、中学生世代では78.9%、高校生世代では72.2%となり、年齢が上がるにしたがって減少している。

図6-7 Q13 学校にはあなたの話を聞いて、あなたのことをよくわかってくれる先生がいますか。

【子ども一年齢別】



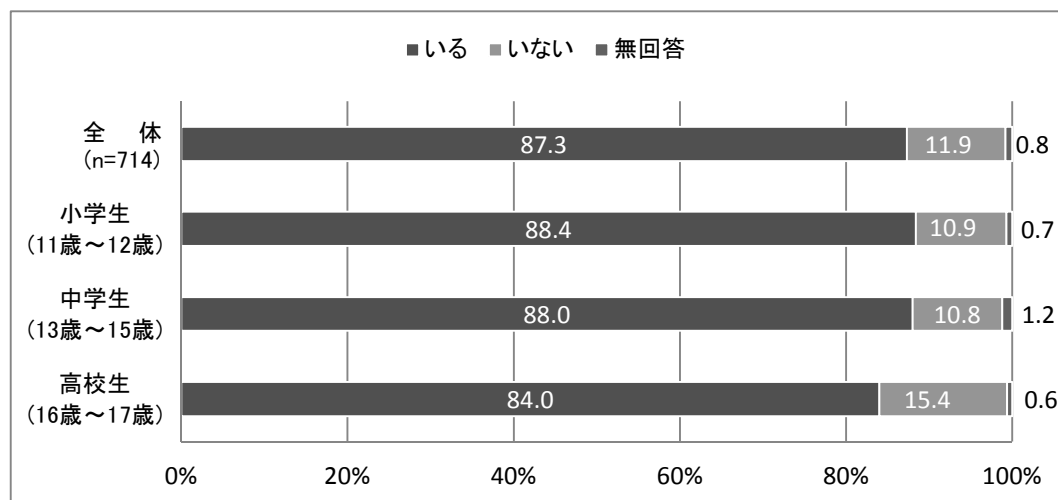
<友だち>

【子ども一年齢別】

子どもに対し、学校には何でも話せる友だちがいるかをたずねたところ、子ども全体では、「いる」という回答が87.3%、「いない」という回答が11.9%であった。

年齢別に見ると、「いる」と回答している割合は、小学生世代で88.4%、中学生世代で88.0%、高校生世代で84.0%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 6 8 Q 1 4 あなたは、学校に何でも話せる友だちがいますか。【子ども一年齢別】



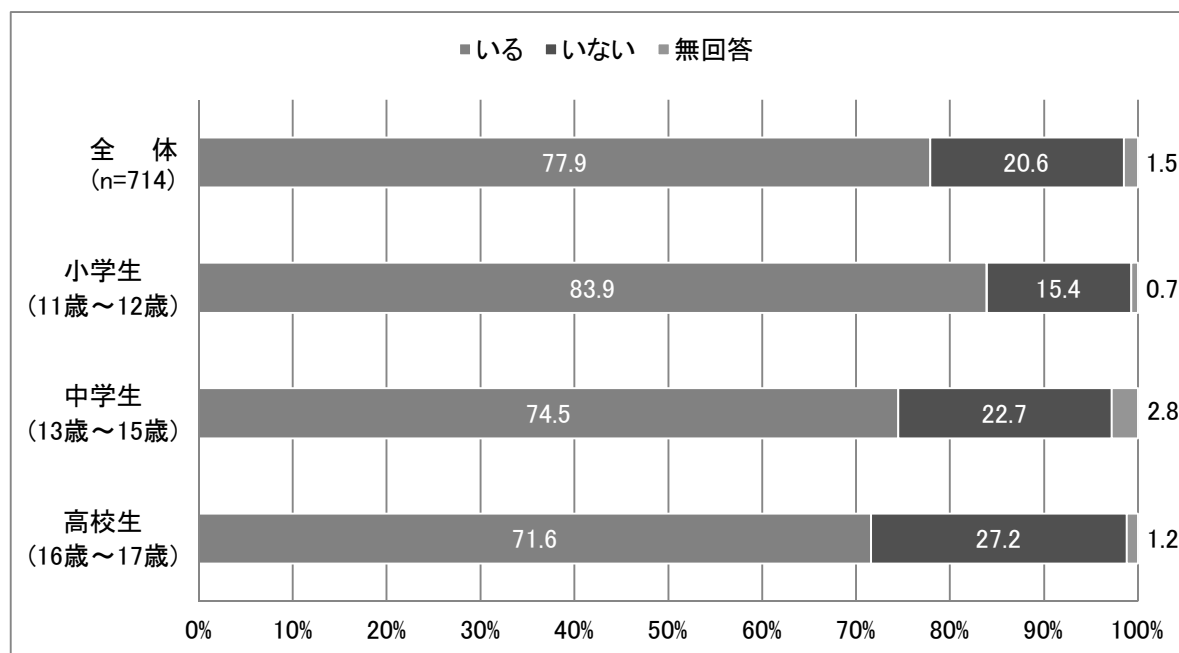
イ 地域で話を聞いてくれる友だちの有無

【子ども一年齢別】

子どもに対し、地域で一緒に遊んだり話したりする友だちがいるかをたずねたところ、子ども全体では、「いる」という回答が 77.9%、「いない」という回答が 20.6%であった。

年齢別に見ると、「いる」と回答している割合は、小学生世代で 83.9%、中学生世代で 74.5%、高校生世代で 71.6%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 6 9 Q 2 0 地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。【子ども一年齢別】



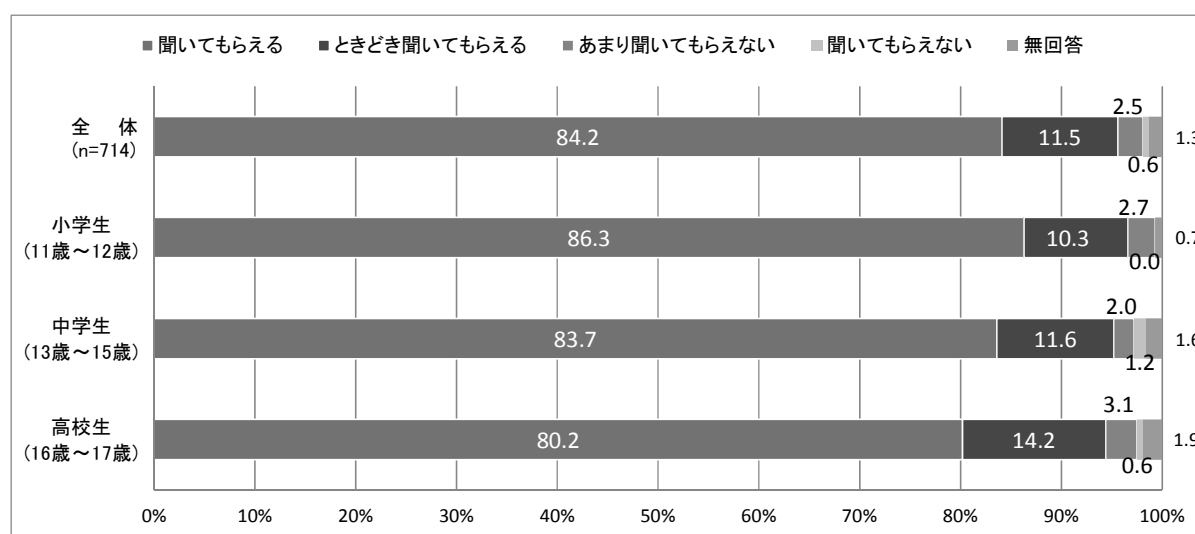
ウ 家庭で話を聞いてくれる人の有無

【子ども—年齢別】

子どもに対し、家で話を聞いてもらえるかをたずねたところ、子ども全体では、「聞いてもらえる」という回答が84.2%、「ときどき聞いてもらえる」が11.5%、「あまり聞いてもらえない」が2.5%、「聞いてもらえない」が0.6%であった。

年齢別に見ると、「聞いてもらえる」という回答は、小学生世代で86.3%、中学生世代で83.7%、高校生世代で80.2%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

図70 Q22 あなたは、家で話を聞いてもらえますか。【子ども—年齢別】

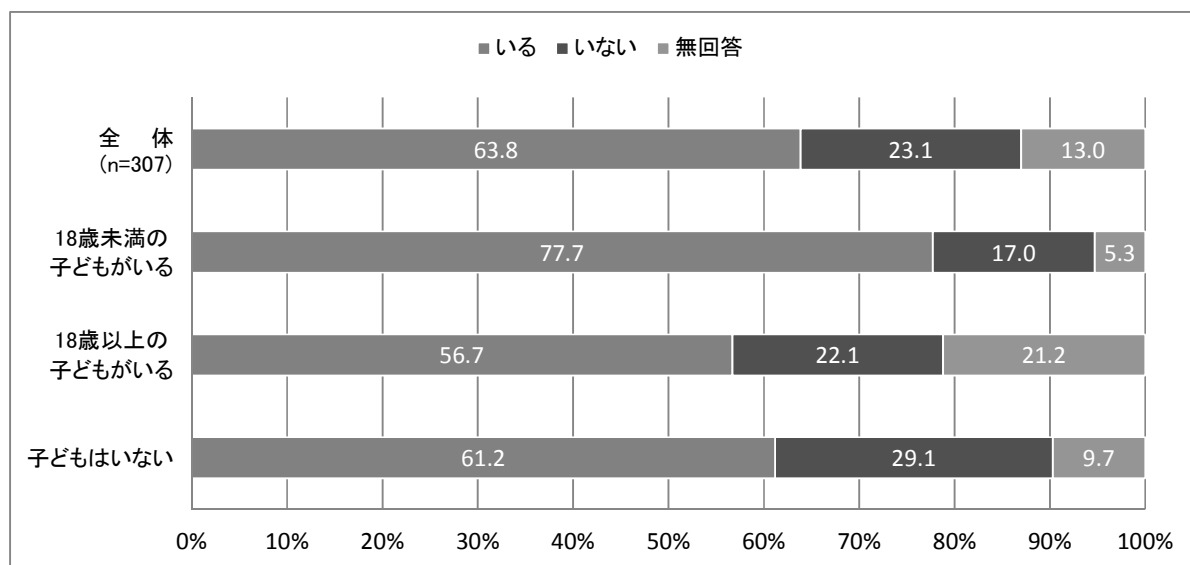


【おとな—子どもの有無別】

おとなに対して、周りに自分の話を聞いてくれる人がいるかをたずねたところ、おとな全体では、「いる」という回答が63.8%、「いない」という回答が23.1%であった。

子どもの有無別にみると、「いる」という回答は、「18歳未満の子どもがいる」おとなで77.7%、「18歳以上の子どもがいる」おとなで56.7%、「子どもはいない」おとなで61.2%であった。

図 7 1 Q 1 9 あなたの職場やあなたのお子さんが通っている保育園・幼稚園・学校など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人がいますか。 【おとな—子どもの有無別】



③ 自由な時間

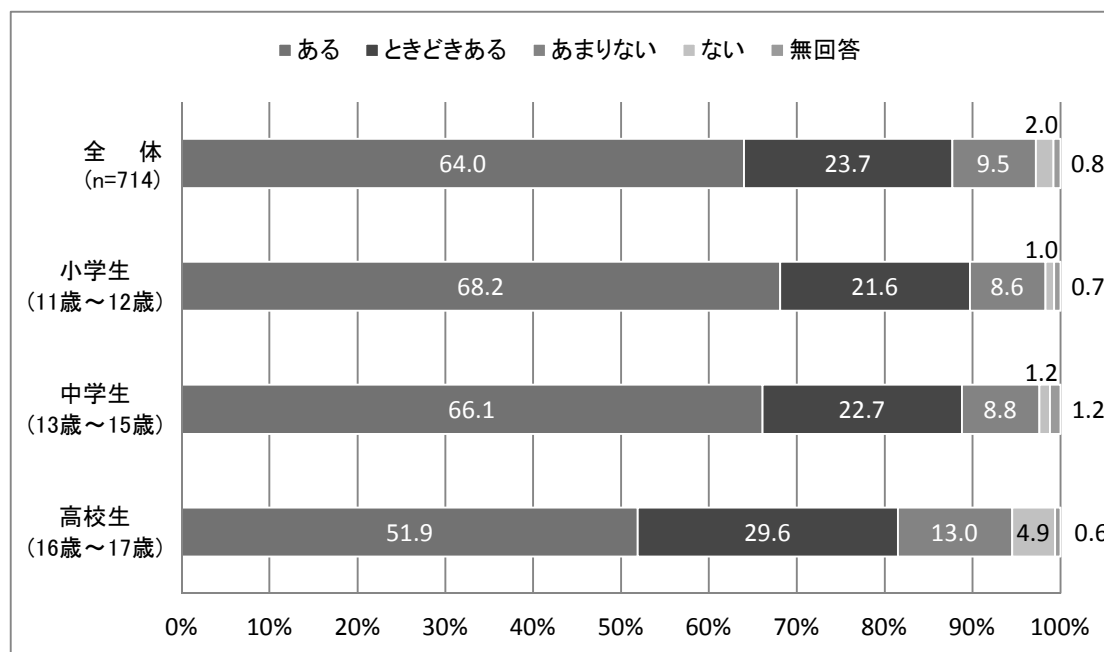
【子ども—年齢別】

子どもに対し、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にあるかをたずねたところ、子ども全体では、「ある」という回答が 64.0%、「ときどきある」が 23.7%、「あまりない」が 9.5%、「ない」が 2.0%であった。

年齢別に見ると、「ある」「ときどきある」を合わせた回答は、小学生世代で 89.8%、中学生世代が 88.8%、高校生世代が 81.5%で、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 7 2 Q 2 4 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

【子ども一年齢別】



(4) 自己意識・権利意識

①自己に対する評価について

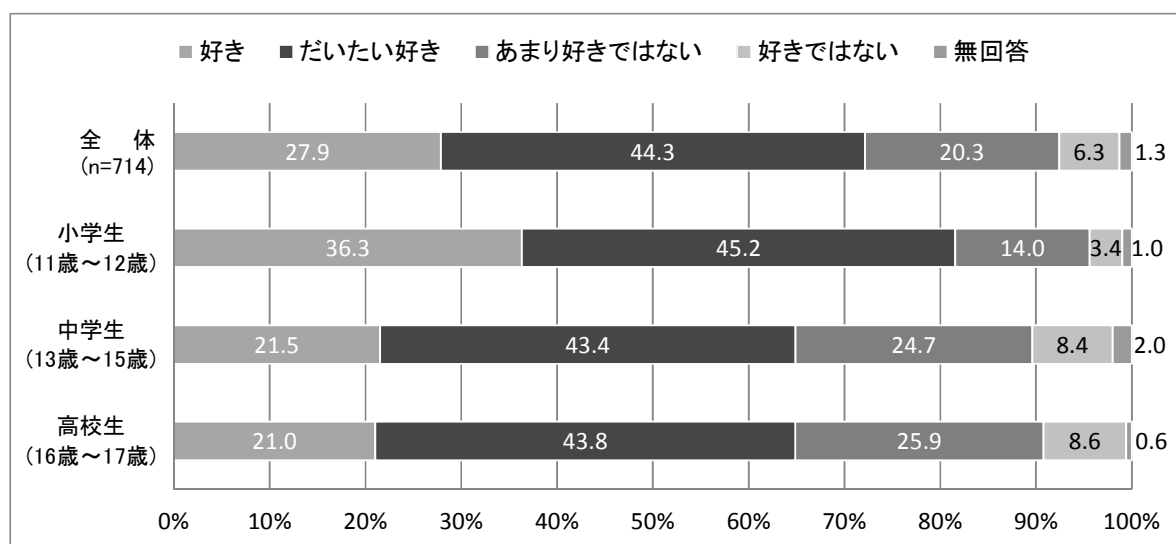
ア 子ども

【子ども—年齢別】

子どもに対し、自分が好きかをたずねたところ、子ども全体では、「好き」が 27.9%、「だいたい好き」が 44.3%、「あまり好きではない」が 20.3%、「好きではない」が 6.3%であった。

年齢別に見ると、「好き」と「だいたい好き」を合わせた回答は、小学生世代が 81.5%、中学生世代が 64.9%、高校生世代が 64.8%で、年齢が上がるにしたがって減少している。

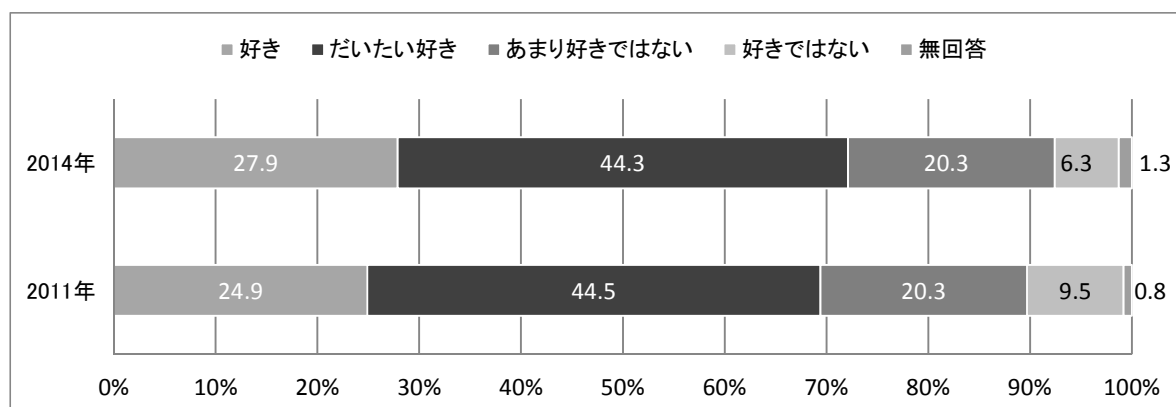
図 7 3 Q 2 7 あなたは、自分が好きですか【子ども—年齢別】



【子ども—経年】

同様の設問をした前回調査と比較すると、「好き」と「だいたい好き」とを合わせた回答は、69.4%から 72.3%へ増加している。

図 7 4 Q 2 7 あなたは、自分が好きですか【子ども—経年】

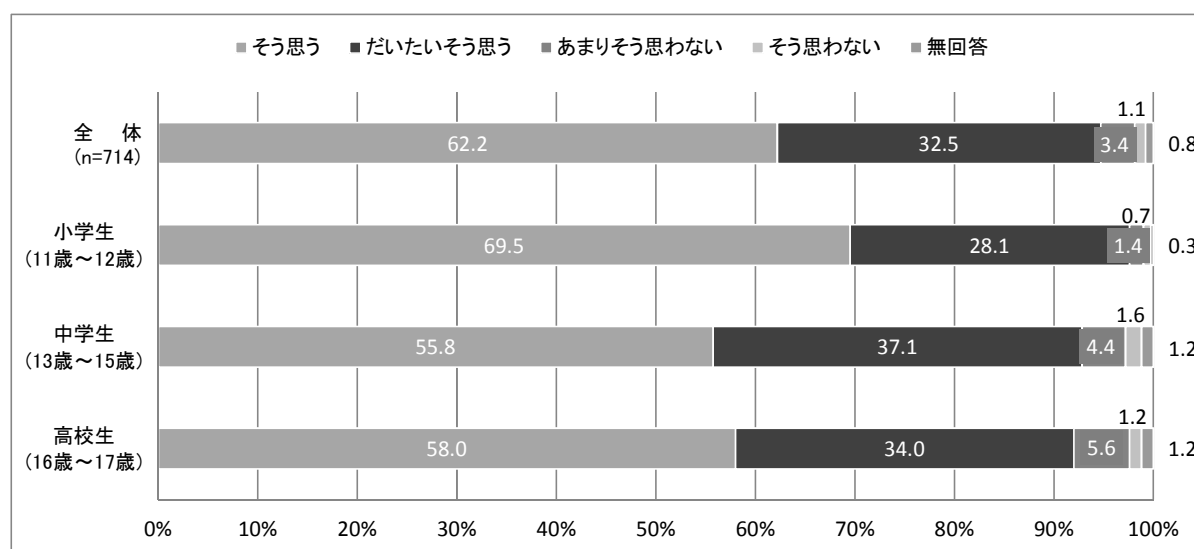


【子ども一年齢別】

子どもに対し、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じるかをたずねたところ、子ども全体では、「そう思う」という回答が62.2%、「だいたいそう思う」が32.5%、「あまりそう思わない」が3.4%、「そう思わない」が1.1%であった。

年齢別に見ると、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた回答は、小学生世代で97.6%、中学生世代で92.9%、高校生世代で92.0%と、年齢が上がるにしたがって若干減少している。

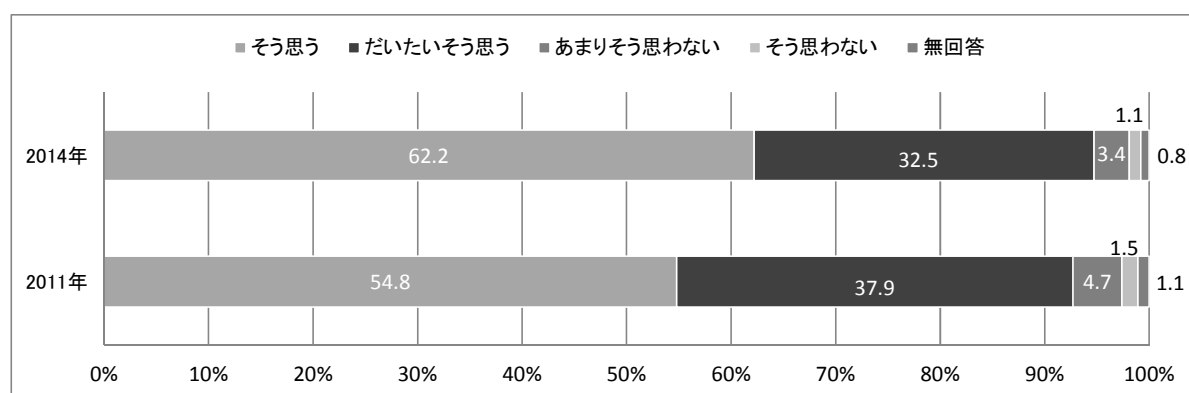
図75 Q28 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども一年齢別】



【子ども一経年】

同様の設問をした前回調査と比較すると、「そう思う」と「だいたいそう思う」とを合わせた回答は、92.7%から94.7%へ増加している。

図76 Q28 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども一年齢別】

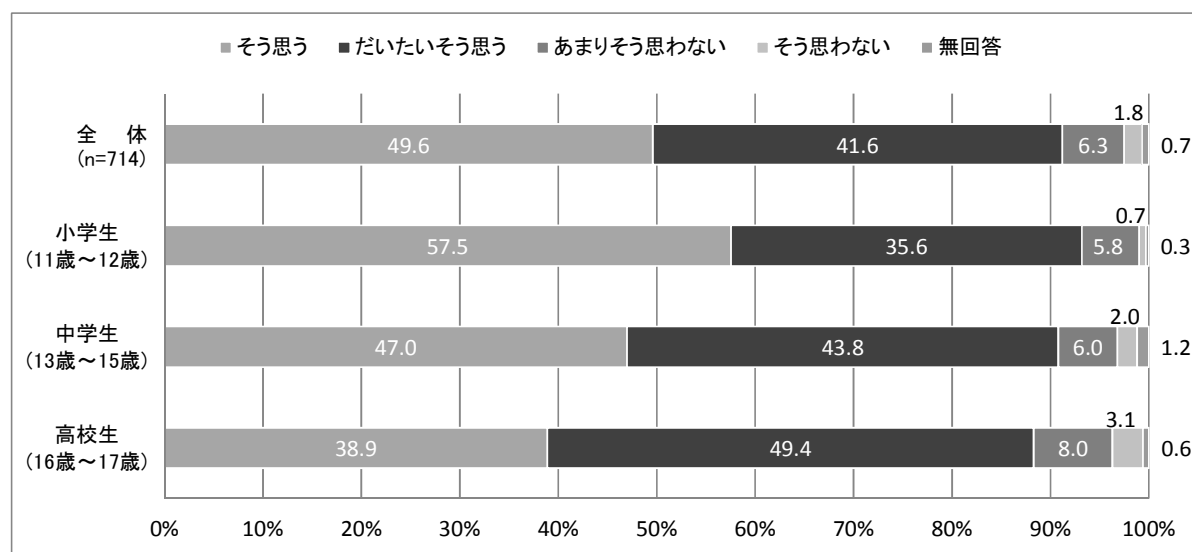


【子ども一年齢別】

子どもに対し、自分は友だちから大切にされていると感じるかをたずねたところ、子ども全体では、「そう思う」という回答が49.6%、「だいたいそう思う」が41.6%、「あまりそう思わない」が6.3%、「そう思わない」が1.8%であった。

年齢別に見ると、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた回答は、小学生世代で93.1%、中学生世代で90.8%、高校生世代で88.3%と、年齢が上がるにしたがって減少している。

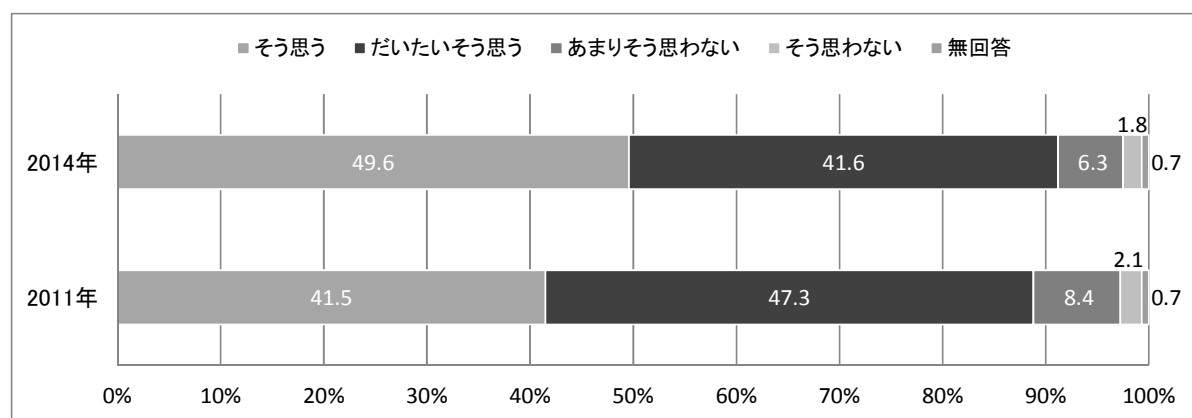
図77 Q29 あなたは、自分は友だちから大切にされていると感じますか。【子ども一年齢別】



【子ども一経年】

同様の設問をした前回調査と比較すると、「そう思う」と「だいたいそう思う」とを合わせた回答は、88.8%から91.2%へ増加している。

図78 Q29 あなたは、自分は友だちから大切にされていると感じますか。【子ども一経年】



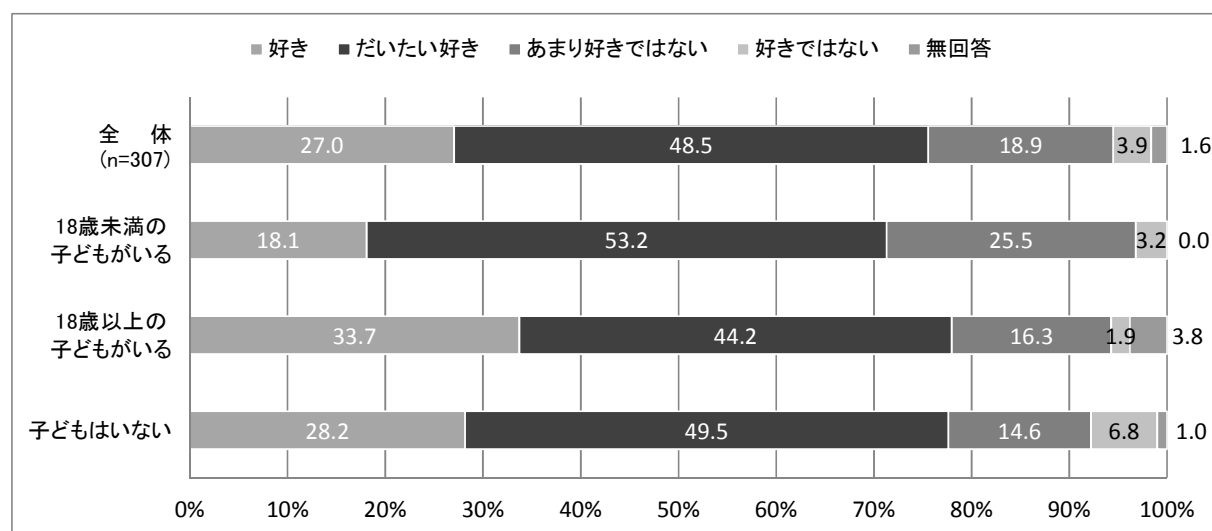
イ おとな

【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、自分が好きかをたずねたところ、おとな全体では、「好き」という回答が 27.0%、「だいたい好き」が 48.5%、「あまり好きではない」が 18.9%、「好きではない」が 3.9% であった。

子どもの有無別にみると、「好き」と「だいたい好き」を合わせた回答は、「18 歳未満の子どもがいる」おとなが 71.3%、「18 歳以上の子どものいる」おとなが 77.9%、「子どもはいない」おとなが 77.7%であった。

図 7 9 Q 3 3 あなたは、自分が好きですか。【おとな—子どもの有無別】

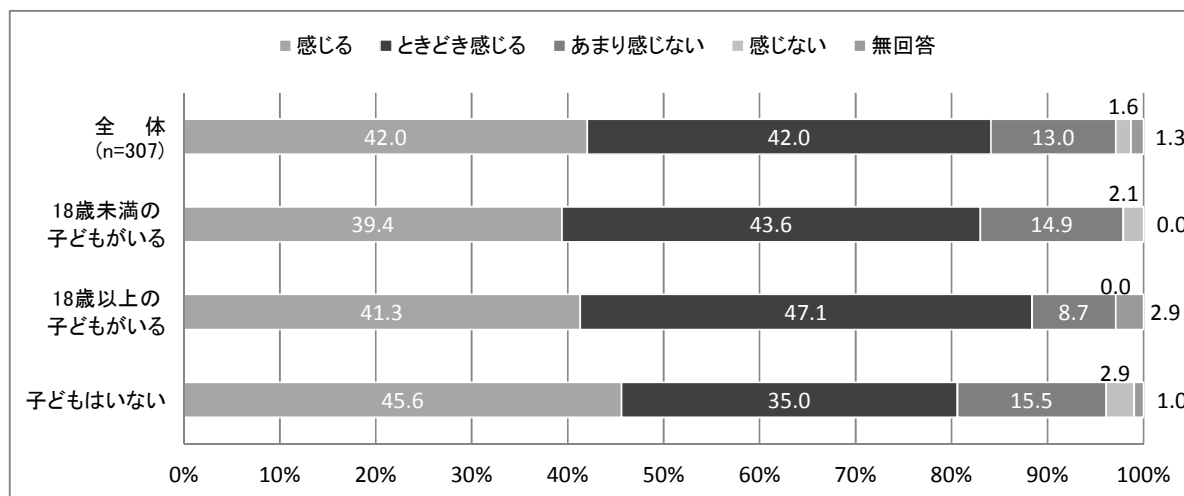


【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、周りの人から大切にされていると感じるかをたずねたところ、「感じる」という回答が 42.0%、「ときどき感じる」が 42.0%、「あまり感じない」が 13.0%、「感じない」が 1.6%であった。

子どもの有無別にみると、「感じる」と「ときどき感じる」を合わせた回答は、「18 歳未満の子どもがいる」おとなが 83.0%、「18 歳以上の子どものいる」おとなが 88.4%、「子どもはいない」おとなが 80.6%であった。

図80 Q34 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。【おとな—子どもの有無別】

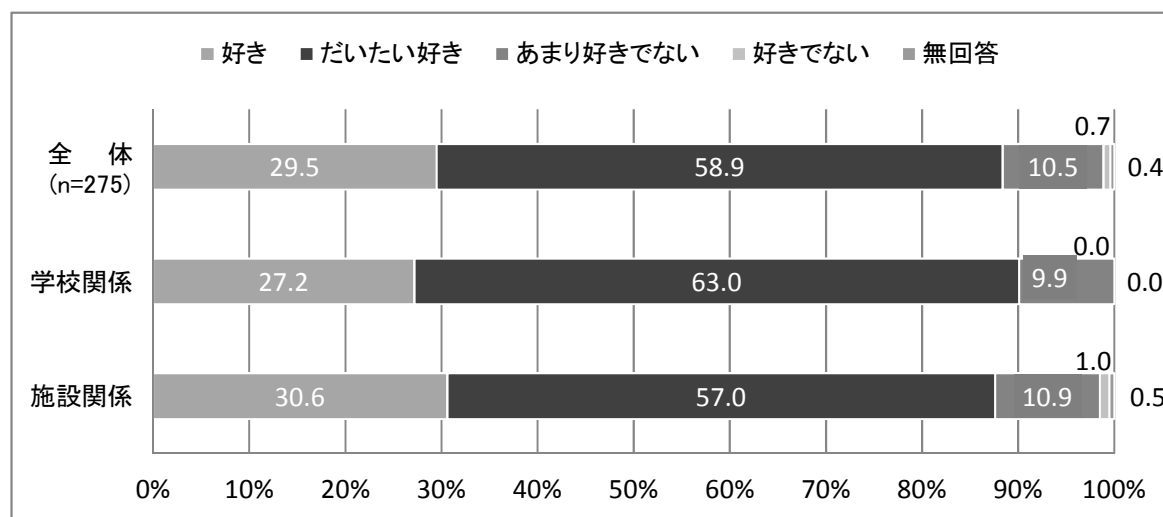


ウ 職員

【職員—学校・施設別】

職員に対し、自分が好きかをたずねたところ、「好き」と「だいたい好き」を合わせた回答は、学校関係の職員が90.2%、施設関係の職員が87.6%であった。

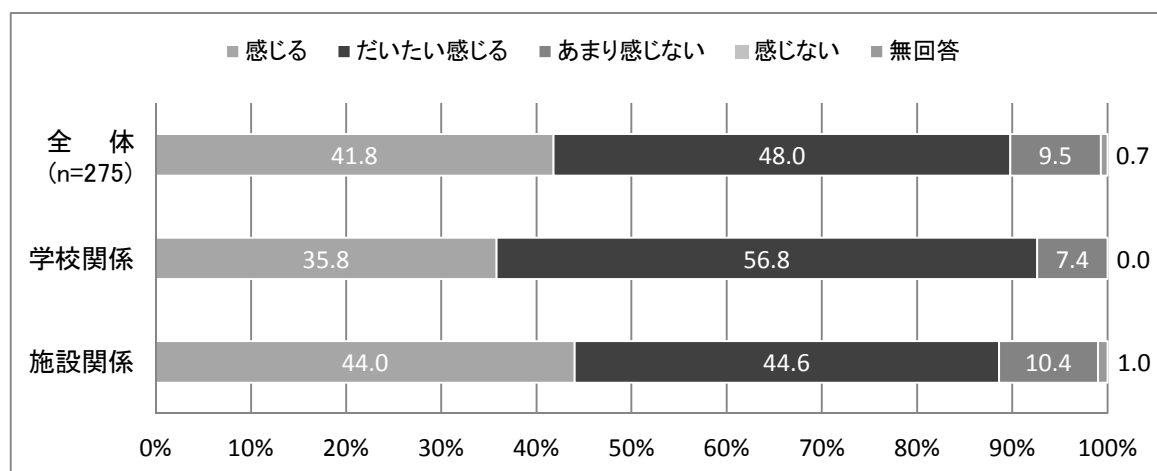
図81 Q29 あなたは、自分が好きですか。【職員—学校・施設別】



【職員—学校・施設別】

職員に対し、周りの人から大切にされていると感じるかをたずねたところ、「感じる」と「だいたい感じる」を合わせた回答は、学校関係の職員が92.6%、施設関係の職員が88.6%であった。

図 8 2 Q 3 0 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。【職員—学校・施設別】

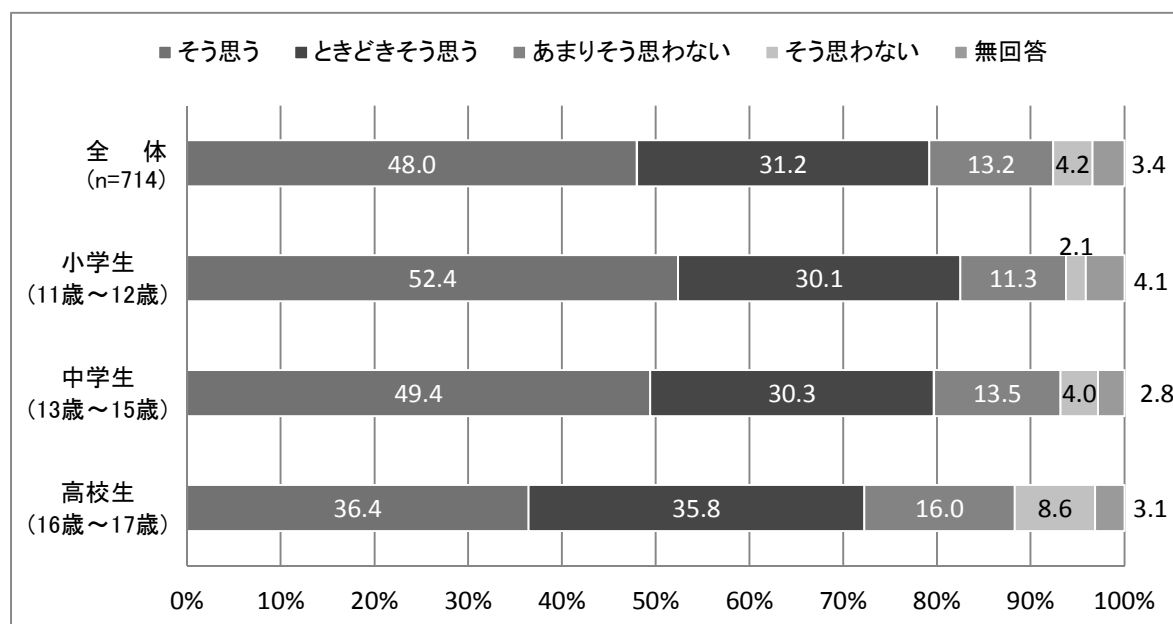


② 文化・国籍等の違いについて

【子ども—年齢別】

子どもに対し、文化・国籍等の違いに関わらず子どもは大切にされていると思うかをたずねたところ、子ども全体では、「そう思う」という回答が 48.0%、「ときどきそう思う」が 31.2%、「あまりそう思わない」が 13.2%、「そう思わない」が 4.2%であった。

図 8 3 Q 2 6 あなたは、生活のなかで文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。【子ども—年齢別】

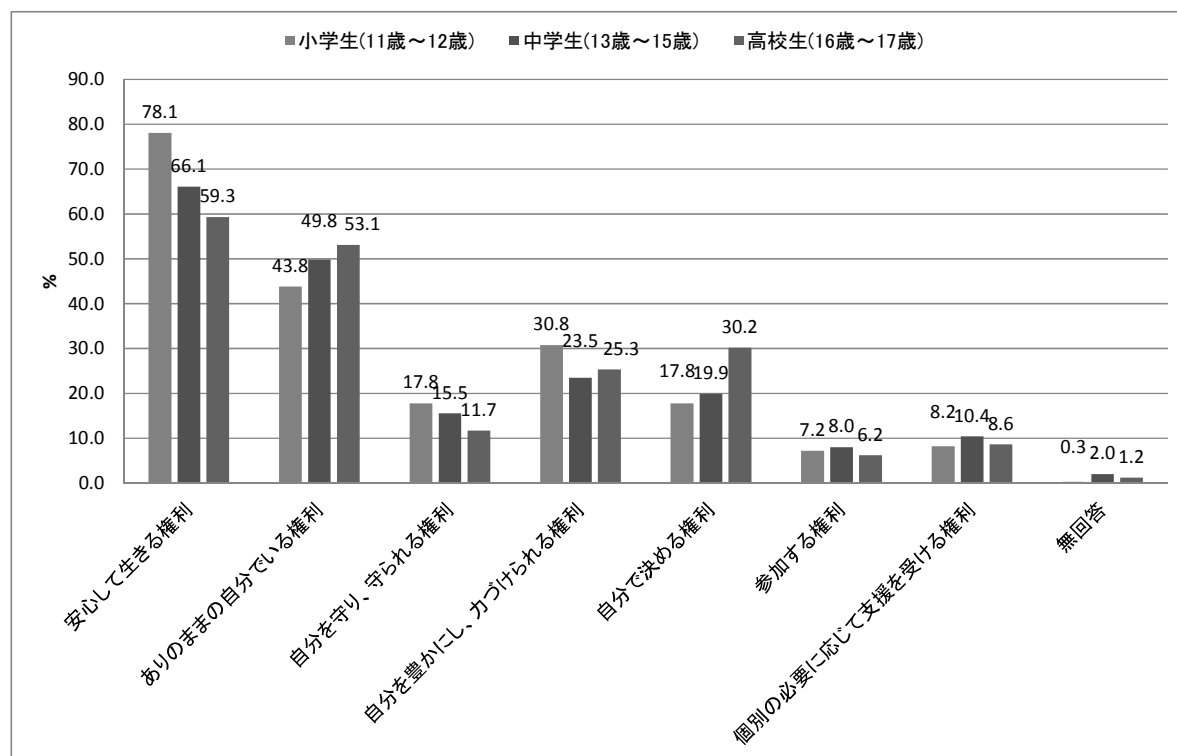


③ 子どもの権利の中で、最も大切だと思うもの

【子ども一年齢別】

子どもに対し、子どもの権利の中で、自分にとって最も大切だと思うものは何かをたずねたところ、すべての年代において最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」で、次いで高かったのが「ありのままの自分でいる権利」であった。

図8-4 Q3-3 子どもの権利のなかで、自分にとってもっとも大切だと思うものは何ですか。【子ども一年齢別】



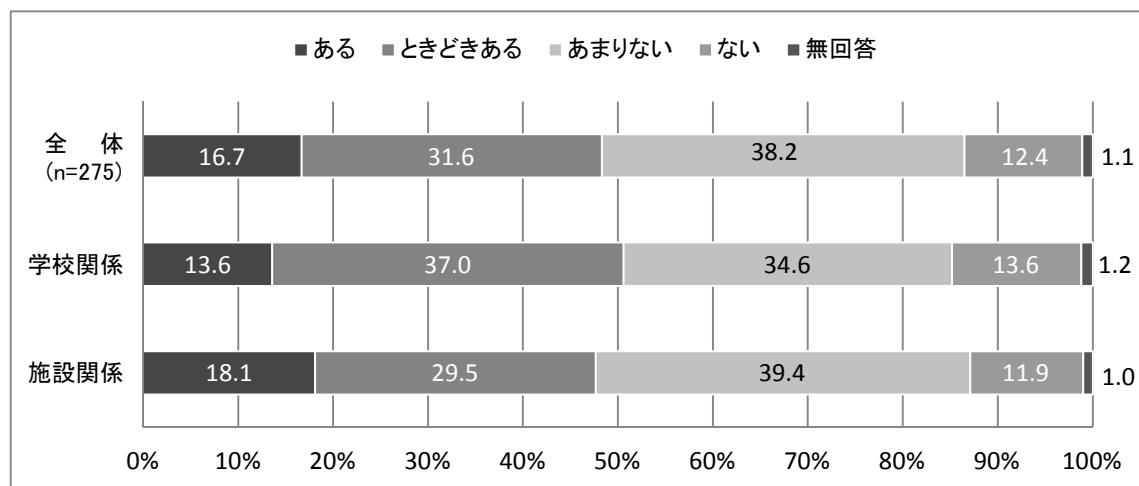
④ 権利学習の機会

【職員—学校・施設別】

職員に対し、子どもが自分の権利を学ぶ機会があるかをたずねたところ、職員全体では、「ある」という回答が、16.7%、「ときどきある」が31.6%、「あまりない」が38.2%、「ない」が12.4%であった。

「ある」と「ときどきある」をあわせた回答の割合は、学校関係職員が50.6%、施設関係職員は47.7%であった。

図 8 5 Q 2 5 あなたの職場では、子どもが自分の権利を学ぶ機会がありますか。【職員―学校・施設別】



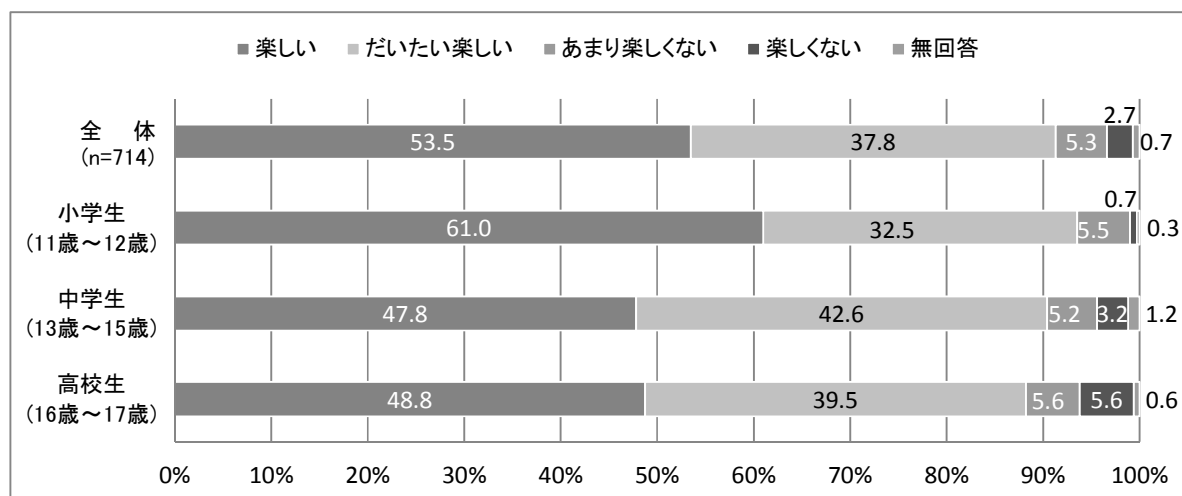
(5) 毎日が楽しいか

【子ども―年齢別】

子どもに対し、毎日が楽しいかをたずねたところ、子ども全体では、「楽しい」という回答が 53.5%、「だいたい楽しい」が 37.8%、「あまり楽しくない」が 5.3%、「楽しくない」が 2.7%であった。

子どもの有無別にみると、「楽しい」と「だいたい楽しい」を合わせた回答は、小学生世代が 93.5%、中学生世代が 90.4%、高校生世代が 88.3%で、年齢が上がるにしたがって減少している。

図 8 6 Q 3 0 あなたは、毎日が楽しいですか。【子ども―年齢別】

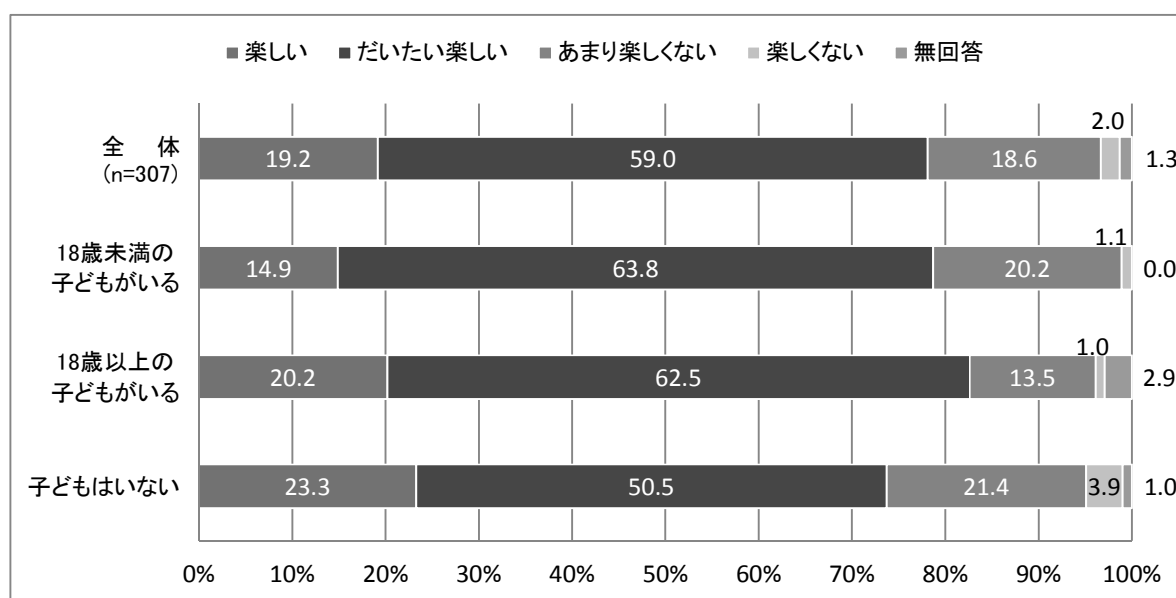


【おとな—子どもの有無別】

おとなに対し、毎日が楽しいかをたずねたところ、「楽しい」という回答が 19.2%、「だいたい楽しい」が 59.0%、「あまり楽しくない」が 18.6%、「楽しくない」が 2.0%であった。

子どもの有無別にみると、「楽しい」と「だいたい楽しい」を合わせた回答は、「18 歳未満の子どもがいる」おとなが 78.7%、「18 歳以上の子どもがいる」おとなが 82.7%、「子どもはいない」おとなが 73.8%であった。

図 8 7 Q 3 5 あなたは、毎日が楽しいですか。【おとな—子どもの有無別】



【職員—学校・施設別】

職員に対し、「毎日が楽しいか」たずねたところ、「楽しい」と「だいたい楽しい」を合わせた回答は、学校関係の職員が 86.5%、施設関係の職員が 89.7%であった。

図 8 8 Q 3 1 あなたは、毎日が楽しいですか。【職員—学校・施設別】

